THE ANNUAL REPORT ON ARCHAEOLOGICAL RESEARCHES KUMAMOTO UNIVERSITY/2009

16

熊本大学埋蔵文化財調査室年報　2009年度

2011　熊本大学埋蔵文化財調査室

THE ANNUAL REPORT ON ARCHAEOLOGICAL RESEARCHES KUMAMOTO UNIVERSITY/2009

16

熊本大学埋蔵文化財調査室年報　2009年度

2011　熊本大学埋蔵文化財調査室

序　文

熊本大学は，旧制第五高等学校を中心とした幾つかの学校の統合再編を経て，戦後設置された新制大学である．このような経緯から，熊本大学は熊本市内の８つのキャンパスに分散配置しているが、それぞれが県下でも有数の遺跡群内に立地している．熊本大学では，現地再開発の方針を決定して以降，再開発と文化財保護の観点から，埋蔵文化財調査委員会および埋蔵文化財調査室を設置し，1994年より構内遺跡の発掘調査を実施している．本書は，平成21年度に実施した調査の概要である．

黒髪南地区では，校舎改修事業がほぼ終了し，本年度は敷地内の環境整備や研究施設の整備に係る工事が多かった．黒髪北地区では，昨年度から引き続き校舎改修事業が進められたが，埋蔵文化財に関わる工事は，主として配管等の小規模なものである．工事は以前の工事範囲内に納まるものや掘削の深さが浅いものが多く，或いは設計変更を行うなどして埋蔵文化財が保護された場合が多かった．その他，各キャンパス内においても小規模の営繕事業が主体であった．

一方で黒髪南地区での旧図書館工学部分館改修工事では，地下の一部で古代の遺構が検出され，また旧制第五高等学校時代の建物の基礎も検出された．エコロジーシステム実験室接地工事では，縄文時代後期の遺構包含層を検出した．武夫原（運動場）では，1994年の調査で確認した遺構と同様に古代の遺構を検出した．熊本大学附属病院では，新営された東病棟のインフラ整備のための工事が実施され，古代の遺構・遺物を検出した．

いずれの調査区も小規模であり遺構も部分的に捉えたにすぎないが，これらの調査結果は、我々が日々を過ごすキャンパスが遺跡の上に存在することを再認識させるものである．

本年度に各地点において得られた成果が，1994年以来積み重ねて来た調査成果とともに，今後の再開発事業において参考となり，また考古学をはじめとする各研究分野にも寄与・活用されることを切望する．

2011年３月

埋蔵文化財調査委員会

委員長　伊　藤　重　剛

例　言

1．本書は熊本大学構内において，2009年4月1日から2010年3月末日まで行われた埋蔵文化財の調査および熊本大学埋蔵文化財調査室の活動内容に関する年次報告書である．

2．構内遺跡の調査は，昨年度に引き続き，年次と調査順を表す調査番号で表すこととし，出土遺物や記録類もこの番号で整理・管理している．

3．遺跡略号は，地区ごとにローマ字３文字で以下のように表記した．黒髪町遺跡黒髪南地区（KKS），同北地区（KKN），本庄遺跡医学部構内（HJM），同病院構内（HJH），同医療技術短期大学部構内（KHJ），京町台遺跡教育学部附属小中学校構内（KMS），大江遺跡群薬学部構内（HJP）．

4．遺物への注記は，遺跡略号＋調査番号＋出土遺構（位置）の順で行った．

5．本書に掲載した遺物やその他の出土遺物および調査にかかわる記録類はすべて熊本大学埋蔵文化財調査室にて保管している．

6．本書の執筆は，付篇および抄録を村田が，Ⅰ章を大坪が，Ⅱ章・英文サマリー・ハングルサマリーは小畑・大坪が行った．

7．本書の編集は大坪が行った．

目　次

<本文目次>

第Ⅰ章　本年度の調査概要――――――――――――1
第Ⅱ章　調査の記録――――――――――――――7
Ⅱ－1　黒髪北地区――――――――――――――7
1.（黒髪北）ガス配管修理に伴う立会調査（0910）――――――――――――――7
2.（黒髪北）非常勤講師宿泊施設屋外給水管漏水修理に伴う立会調査（0913）――――7
3.（黒髪北）文法学部本館耐震ブレース基礎まわり工事に伴う立会調査（0914）――――10
4.（黒髪北）教育学部本館・文法学部本館Ⅱ期改修機械設備工事に伴う立会調査（0918）10
5.（黒髪北）文法学部本館Ⅱ期改修外構工事（変更）に伴う立会調査（0919）――――11
6.（黒髪北）文法学部本館Ⅱ期改修東側外構工事に伴う立会調査（0920）――――――12
7.（黒髪北）教育学部本館・文法学部本館Ⅱ期改修電気設備工事に伴う立会調査（0921）13
8.（黒髪北）教育学部本館・文法学部本館Ⅱ期改修機械設備工事に伴う立会調査（0928）13
9.（黒髪北）体育館改修電気設備工事に伴う立会・発掘調査（0935）――――――――14
10.（黒髪北）教育学部本館Ⅱ期改修西側外構工事に伴う立会調査（0939）――――――16
11.（黒髪北）体育館屋外階段改修工事に伴う立会調査（0941）――――――――――16
12.（黒髪北）体育館屋外配水管改修工事に伴う立会調査（0942）――――――――――17
13.（黒髪北）教育学部本館Ⅱ期改修東側外溝工事に伴う立会調査（0944）――――――18
14.（黒髪北）教育学部本館・文法学部本館改修機械設備工事（Ⅱ期）に伴う立会調査（0945）――――――――――――――――――18
15.（黒髪北）教育学部本館・文法学部本館改修機械設備工事（Ⅱ期）追加に伴う立会調査（0946）――――――――――――――19
16.（黒髪北）教育学部東教室既設駐輪場撤去・新設他工事に伴う立会調査（0948）――――19
17.（黒髪北）教育学部本館Ｂ棟配水管・連結送水管工事に伴う立会調査（0959）――――20
18.（黒髪北）体育館改修電気設備工事（電柱撤去）に伴う立会調査（0964）――――――20
19.（黒髪北）文法学部本館駐輪場撤去工事に伴う立会調査（0965）――――――――21
20.（黒髪北）保健センター前屋外消火栓取替工事に伴う立会調査（0966）――――――21
21.（黒髪北）共用棟黒髪６揚水設備撤去他給水設備改修工事に伴う立会調査（0968）――22
22.（黒髪北）文法学部古紙倉庫設置工事に伴う立会調査（0971）――――――――――22
Ⅱ－2　黒髪南地区――――――――――――――23
1.（黒髪南）西門改修植栽移植工事に伴う立会調査（0901）――――――――――――23
2.（黒髪南）西門改修工事に伴う立会調査（0902）――――――――――――――――23
3.（黒髪南）屋外雨水管改修工事に伴う立会調査（0905）――――――――――――――26
4.（黒髪南）工学部研究実験棟準備室Ａ種接地工事に伴う立会調査（0922）――――――27
5.（黒髪南）ゴミ集積場取設工事に伴う立会調査（0927）――――――――――――――28
6.（黒髪南）旧図書館工学部分室他改修工事に伴う立会・発掘調査（0932）――――――28
7.（黒髪南）旧図書館工学部分室他改修電気設備工事に伴う立会調査（0934）――――――29
8.（黒髪南）旧図書館工学部分室他改修機械設備工事に伴う立会調査（0937）――――――30
9.（黒髪南）エコロジーシステム実験室接地工事に伴う立会・発掘調査（0938）――――31
10.（黒髪南）生物生息環境音響解析室新営工事に伴う立会調査（0940）――――――――32
11.（黒髪南）旧図書館工学部分室外構工事に伴う立会調査（0943）――――――――――32
12.（黒髪南）生物生息環境音響解析室新営機械設備工事に伴う立会調査（0952）――――33
13.（黒髪南）生物生息環境音響解析室新営電気設備工事に伴う立会調査（0953）――――33
14.（黒髪南）環境整備（駐輪場等）工事に伴う立会調査（0954）――――――――――34
15.（黒髪南）環境整備駐輪場外灯設備工事に伴う立会調査（0955）――――――――――34
16.（黒髪南）備蓄倉庫２取設工事に伴う立会調査（0961）――――――――――――――35
17.（黒髪南）大学院自然科学研究科実験棟地圏

探査工学実験室改修電気設備工事に伴う立会調査（0962）――35
18.（黒髪南）事務局来客用駐車場取設工事に伴う立会調査（0967）――36
Ⅱ－3　黒髪東地区――37
1.黒髪団地（東地区）インフラ整備に伴う立会調査（0912）――37
2.（黒髪東）特別支援学校屋外給水管漏水修理に伴う立会調査（0913）――37
3.（黒髪北）教育学部東教室外構工事に伴う立会調査（0949）――38
4.（黒髪北）教育学部東教室耐震改修機械設備工事に伴う立会調査（0950）――38
5.（黒髪北）教育学部東教室耐震改修電気設備工事に伴う立会調査（0951）――38
6.（黒髪東）教育学部附属特別支援学校小学部遊具設置工事に伴う立会調査（0958）――39
7.（黒髪東）ソフトテニスコート給水工事に伴う立会調査（0969）――39
Ⅱ－4　本荘北地区――40
1.（医病）基幹整備（電話交換設備更新）工事その１（変更）に伴う立会調査(0907)――40
2.（医病）東病棟新営機械設備（衛生）工事（変更）に伴う立会・発掘調査（0923)――42
3.（医病）東病棟新営機械設備工事（衛生）追加その２に伴う立会・発掘調査(0924)――44
4.（医病）東病棟新営機械設備（衛生）工事追加その1に伴う立会・発掘調査（0925)――45
5.（医病）基幹整備（自家発電設備更新）工事に伴う立会調査（0926）――46
6.（医病）第６病棟スロープ取設工事に伴う立会調査（0929）――47
7.（本荘北）基礎研究棟北側プレハブ小屋改修工事に伴う立会調査（0930）――47
8.（医病）東病棟北側排水管等取設工事に伴う立会調査（0931）――48
9.（医病）旧こばと保育園駐車場整備に伴う立会調査（0936）――49
10.（本荘北）医学部駐輪場取設工事に伴う立会調査（0960）――50
Ⅱ－5　本荘中地区――51
1.（本荘中）中地区構内カーブミラー取設工事に伴う立会調査（0903）――51
2.（医病）基幹整備（電話交換設備更新）工事その２に伴う立会調査（0908）――51
3.（本荘中）動物資源開発研究施設棟南側屋外配管漏水修理に伴う立会調査（0916）――53
4.（本荘中）構内通路屋根取設工事に伴う立会調査（0917）――53
5.（本荘中）ボイラー室変電設備改修その他工事に伴う立会調査（0956）――54
Ⅱ－6　本荘南地区（九品寺地区）――55
1.（本荘南）保健学科Ｅ棟給水配管工事に伴う立会調査（0972）――55
Ⅱ－7　大江地区（薬学部）――56
1.（大江）薬学部育薬フロンティアセンター新営その他工事に伴う立会調査（0906）――56
2.（大江）薬学部樹木伐採・移植工事に伴う立会調査（0909）――56
3.（大江）薬学部育薬フロンティアセンター新営その他電気設備工事に伴う立会調査(0911)――58
4.（大江）薬学部講義棟前外灯工事に伴う立会調査（0947）――59
5.（大江北）薬学部屋外通路屋根取設工事に伴う立会調査（0957）――59
6.（大江北）薬学部蕃滋館屋外給水配管工事に伴う立会調査（0973）――60
Ⅱ－8　宇留毛地区――60
1.（宇留毛）学生寄宿舎駐輪場新営工事に伴う立会調査（0904）――60
2.（宇留毛）留学生宿舎新営電気設備工事（追加その５）に伴う立会調査（0915）――61
Ⅱ－9　京町地区――62
1.（京町）附属小学校プール他改修機械設備工事に伴う立会調査（0933）――62
2.（京町）附属中学校校舎南側雨水管改修工事に伴う立会調査（0963）――63
3.（京町）附属中学校教育学部同窓会弔魂碑案内標柱設置工事に伴う立会調査（0970）―64
跋　文――65
Summary――66
付篇１――67
付篇２――69
報告書抄録――71

＜図版目次＞

図１　黒髪町遺跡・本庄遺跡の位置と周辺遺跡の分布図（1/25000）――2
図２　黒髪北地区西半における調査地点配置図（1/2000）――8
図３　黒髪北地区東半における調査地点配置図（1/2000）――9
図４　黒髪南地区における調査地点配置図（1/2000）24
図５　黒髪南地区（東部）における調査地点配置図（1/2000）――25
図６　本荘北地区における調査地点配置図（1/2000）――41
図７　本荘中・南地区における調査地点配置図（1/2000）――52
図８　大江地区における調査地点配置図（1/2000）―57
図９　京町地区における調査地点配置図（1/3000）―62

＜写真目次＞

写真１　調査区遠景（南より）――7
写真２　埋設ガス管検出状況（北より）――7
写真３　知命堂前作業風景（南西より）――7
写真４　掘削状況（西より）――7
写真５　文法東側地点作業風景（西より）――10
写真６　文法東側地点掘削状況（西より）――10
写真７　文法西側地点掘削状況（西より）――10
写真８　文法学部本館東側北地点作業風景（南東より）――10
写真９　掘削状況（北より）――11
写真10　南地点掘削状況（北より）――11
写真11　A講義棟角集水枡部作業風景（西南より）―11
写真12　A講義棟角集水枡部掘削状況（南より）――11
写真13　文法学部棟沿集水枡部掘削状況（西より）―11
写真14　渡り廊下屋根基礎部分作業風景（北東より）――11
写真15　基礎部分掘削状況（北より）――12
写真16　集水枡部作業風景（東より）――12
写真17　掘削状況（北より）――12
写真18　植栽地点作業風景（東より）――12
写真19　植栽地点掘削状況（西より）――12
写真20　ベンチ基礎地点作業風景（南西より）――13
写真21　ベンチ基礎地点掘削状況（南東より）――13
写真22　調査区遠景（南より）――13
写真23　掘削状況（西より）――13
写真24　土層堆積状況（南より）――13
写真25　①地点作業風景（北西より）――14
写真26　①地点掘削状況（西より）――14
写真27　③地点掘削状況（北より）――14
写真28　人孔No.1遺構検出状況（南より）――15
写真29　人孔No.2掘削後状況（北より）――16
写真30　道路横断部分土層（北より）――16
写真31　掘削風景（南より）――16
写真32　掘削後状況（西より）――16
写真33　掘削風景（東より）――17
写真34　掘削後（南より）――17
写真35　第１トレンチ掘削風景（東より）――17
写真36　第１トレンチ掘削後（南より）――17
写真37　第２トレンチ掘削風景（東より）――17
写真38　第２トレンチ掘削後（西より）――17
写真39　掘削状況遠景（南東より）――18
写真40　北東端掘削後（東より）――18
写真41　掘削状況（南より）――18
写真42　北側掘削部（東より）――18
写真43　掘削地遠景（南より）――19
写真44　掘削部北部掘削後状況（西より）――19
写真45　掘削風景（北より）――19
写真46　掘削後のようす（北より）――19
写真47　南側調査地点遠景（東より）――20
写真48　南側調査地点建物横掘削部（南より）――20
写真49　作業風景（東より）――20
写真50　①地点掘削状況（西より）――20
写真51　③地点掘削状況（南より）――21
写真52　作業風景（南西より）――21
写真53　抜き取り後の様子（南西より）――21
写真54　作業風景（北東より）――21
写真55　掘削状況（東より）――21
写真56　作業風景（北より）――22
写真57　掘削全景（南より）――22
写真58　作業風景（西より）――22
写真59　掘削状況（北より）――22
写真60　移植先遠景（北より）――23
写真61　移植先掘削状況（西より）――23
写真62　移植元掘削状況（西より）――23
写真63　掘削後（南より）――23
写真64　外灯移植工事区遠景（南より）――25
写真65　外灯基礎部掘削状況（東より）――25
写真66　新門柱基礎掘削風景（北西より）――25
写真67　門柱基礎部掘削後と北側道路（南より）――26
写真68　門開閉部基礎掘削後（北より）――26
写真69　西側道路境界部基礎掘削後（北より）――26
写真70　外灯基礎部工事風景（西より）――26

写真71　外灯基礎部掘削状況（西より）――26
写真72　暗渠用埋設管掘削風景（西より）――26
写真73　暗渠用埋設管掘削部（西より）――26
写真74　①地点作業風景（東より）――27
写真75　①地点掘削状況（東より）――27
写真76　②地点作業風景（北東より）――27
写真77　②地点掘削状況（南より）――27
写真78　作業風景（西より）――27
写真79　道路横断部掘削状況（北より）――28
写真80　接地棒2地点掘削状況（西より）――28
写真81　給水管部作業風景（南より）――28
写真82　給水管部掘削状況（南より）――28
写真83　トレンチ①掘削状況（東より）――28
写真84　南側階段撤去後（南より）――29
写真85　ゴミ置き場掘削後（西より）――29
写真86　古代溝検出状況（東より）――29
写真87　調査区遠景（北より）――29
写真88　旧図書館側地山（西より）――30
写真89　赤レンガ建物基礎（東より）――30
写真90　配水管配管部掘削風景（北より）――30
写真91　人孔部分掘削後（北西より）――30
写真92　南部配管部分掘削後（北より）――30
写真93　電気埋設工事立会現場（南西より）――31
写真94　掘削後状況（南より）――31
写真95　掘削風景（西より）――31
写真96　北側配線部分（西より）――31
写真97　北側配線部分検出溝（東南より）――31
写真98　調査風景（北から）――32
写真99　北東トレンチ掘削後（西より）――32
写真100　浄化槽部分掘削風景遠景（南より）――32
写真101　浄化槽撤去部分検出のＶ字溝（東より）――32
写真102　雨水管部分掘削風景（東より）――33
写真103　雨水管部分土層（北より）――33
写真104　掘削風景（西より）――33
写真105　掘削部土層（南より）――33
写真106　掘削風景（北より）――33
写真107　掘削部（北東より）――34
写真108　樹木移植部掘削風景（東より）――34
写真109　Ａ工区移植部掘削後（南から）――34
写真110　東端外灯掘削風景（西より）――34
写真111　東端外灯掘削後（南より）――35
写真112　作業風景（南より）――35
写真113　掘削状況（東より）――35
写真114　作業風景（東より）――35
写真115　掘削全景（西より）――36
写真116　西端部掘削土層状況（北より）――36
写真117　樹木抜取り作業風景（南より）――36
写真118　樹木抜取り掘削状況（南より）――36
写真119　樹木移植先①地点掘削状況（南より）――36
写真120　駐車場掘削状況（南より）――36
写真121　①地点作業風景（北より）――37
写真122　①地点掘削状況（南より）――37
写真123　東教室玄関横　作業風景（北東より）――37
写真124　掘削状況（東より）――37
写真125　フェンス基礎撤去風景（西より）――38
写真126　フェンス基礎撤去後（西より）――38
写真127　掘削風景（南西より）――38
写真128　掘削後（南より）――38
写真129　掘削風景（西より）――39
写真130　掘削後（西より）――39
写真131　調査区遠景（南より）――39
写真132　ブランコ基礎掘削後（北より）――39
写真133　②地点作業風景（西より）――40
写真134　②地点掘削状況（西より）――40
写真135　①地点掘削状況（東より）――40
写真136　②地点作業風景（南西より）――42
写真137　②地点掘削状況（東より）――42
写真138　③地点掘削状況（北より）――42
写真139　工区①調査区遠景（北より）――42
写真140　工区①掘削風景（北東より）――42
写真141　⑨工区西側地山②確認状況（西より）――43
写真142　ピット検出状況（東より）――43
写真143　工区⑤掘削状況（北より）――43
写真144　7号住居址掘削状況（西より）――43
写真145　工区⑪掘削状況（西より）――43
写真146　工区③作業風景（北より）――44
写真147　工区③掘削状況（東より）――44
写真148　工区④ピット検出状況（南より）――44
写真149　工区④掘削状況（西より）――44
写真150　⑨工区南端ピット検出状況（北東より）――45
写真151　M3完掘状況（南西より）――45
写真152　工区⑥掘削状況（南より）――45
写真153　工区⑧掘削状況（西より）――45
写真154　工区⑩全景（南より）――46
写真155　作業風景（西より）――46
写真156　配管部掘削状況（西より）――46
写真157　調査区西側土層（東より）――46
写真158　調査区南側掘削状況（南西より）――46
写真159　調査区遠景（北より）――47
写真160　掘削部土層（東より）――47

写真161　調査区（南より）――47
写真162　掘削部土層（東より）――47
写真163　A 調査区遠景（西より）――48
写真164　A 調査区掘削風景（西より）――48
写真165　A 調査区掘削状況（西より）――48
写真166　B 調査区掘削風景（東より）――49
写真167　B 調査区遺構検出状況（北より）――49
写真168　C 調査区掘削状況（南より）――49
写真169　遊具基礎撤去風景（東より）――49
写真170　遊具基礎撤去後（東より）――49
写真171　基礎撤去跡出土埋甕片（北より）――50
写真172　調査地点遠景（東より）――50
写真173　基礎1掘削後（北より）――50
写真174　電線埋設部掘削後（東より）――50
写真175　基礎5掘削後（西より）――50
写真176　作業風景（南より）――51
写真177　掘削状況（西より）――51
写真178　作業風景（南より）――51
写真179　掘削状況（北より）――51
写真180　作業風景（東より）――53
写真181　掘削状況（南より）――53
写真182　①地点遠景（南より）――53
写真183　①地点掘削状況（南より）――54
写真184　②地点掘削状況（西より）――54
写真185　掘削状況（南東より）――54
写真186　掘削後状況（東より）――54
写真187　保健学科 E 棟玄関横作業風景（東より）―55
写真188　保健学科 E 棟玄関横掘削状況（東より）―55
写真189　保健学科 E 棟東側作業風景（東より）――55
写真190　保健学科 E 棟東側道路部分掘削状況（西より）――55
写真191　作業風景（西南より）――56
写真192　掘削状況（東より）――56
写真193　コンクリート枡南側掘削状況（南より）――56
写真194　抜根①作業風景（北より）――57
写真195　抜根①掘削状況（南より）――57
写真196　移植先①掘削状況（南より）――57
写真197　作業風景（南より）――58
写真198　基礎周囲掘削状況（東より）――58
写真199　トレンチ2作業風景（北東より）――58
写真200　トレンチ1掘削状況（東より）――58
写真201　トレンチ2掘削状況（西より）――58
写真202　掘削作業遠景（南より）――59
写真203　外灯基礎部分掘削後――59
写真204　調査地遠景（東より）――59
写真205　基礎 D 掘削後（西より）――59
写真206　作業風景（北東より）――60
写真207　掘削状況（東より）――60
写真208　調査地点遠景（西より）――60
写真209　北側掘削区西側土（南より）――61
写真210　南側掘削区東側（北より）――61
写真211　A 区遠景（北西より）――61
写真212　A 区マンホール部土層（北より）――61
写真213　①地点掘削状況（西より）――62
写真214　②地点作業風景（南より）――62
写真215　②地点掘削状況（北より）――63
写真216　③地点作業風景（南西より）――63
写真217　③地点掘削状況（西より）――63
写真218　作業風景（東より）――63
写真219　掘削状況（西より）――63
写真220　作業風景（北より）――64
写真221　掘削状況（東より）――64

＜表目次＞

表１　熊本大学敷地埋蔵文化財包蔵地指定一覧――1
表２　2009年度調査一覧――3

第Ⅰ章　本年度の調査概要

本年度は，表２のとおり，発掘調査６件，立会調査73件を実施した．

本年度実施した発掘調査は，本荘北地区における東病棟新営工事に伴う調査（0923・0924・0925調査地点），黒髪北地区における体育館改修電気設備工事に伴う調査（0935），黒髪南地区における旧図書館工学部分室他改修工事に伴う調査（0932調査地点），同地区におけるエコロジーシステム実験室接地工事に伴う調査（0938調査地点）である．本年度は，昨年度に調査を終え建設が開始された建物に関わるインフラ整備や，改修による設備整備事業が中心であった．このため，本年度実施した発掘調査は，１件（0925調査地点）以外は立会調査から発掘調査に切り替わった事例である．

0923・0924・0925調査地点は，2001年度に実施した0104調査地点にほぼ隣接する．0104調査地点では，遺構・遺物ともに密集して検出されたため，既存建物や近年の工事による破壊が及んでいなければ，遺構が遺存することが予想された．調査の結果，東病棟に隣接する工区はほぼ旧第５病棟跡地に含まれるか隣接するため破壊されていたが（0924調査地点・⑤工区），これより離れると包含層及び遺構面が検出され，遺構も確認された（⑤工区１部・⑦工区一部・⑧・⑨・⑩工区）．本荘北地区北側では，既往の調査で，遺跡の保存状態は良好で且つ遺構が密集していることが確認されているが，今回の調査で既存の建物周辺は遺跡が破壊されずに残されていることを再確認した．

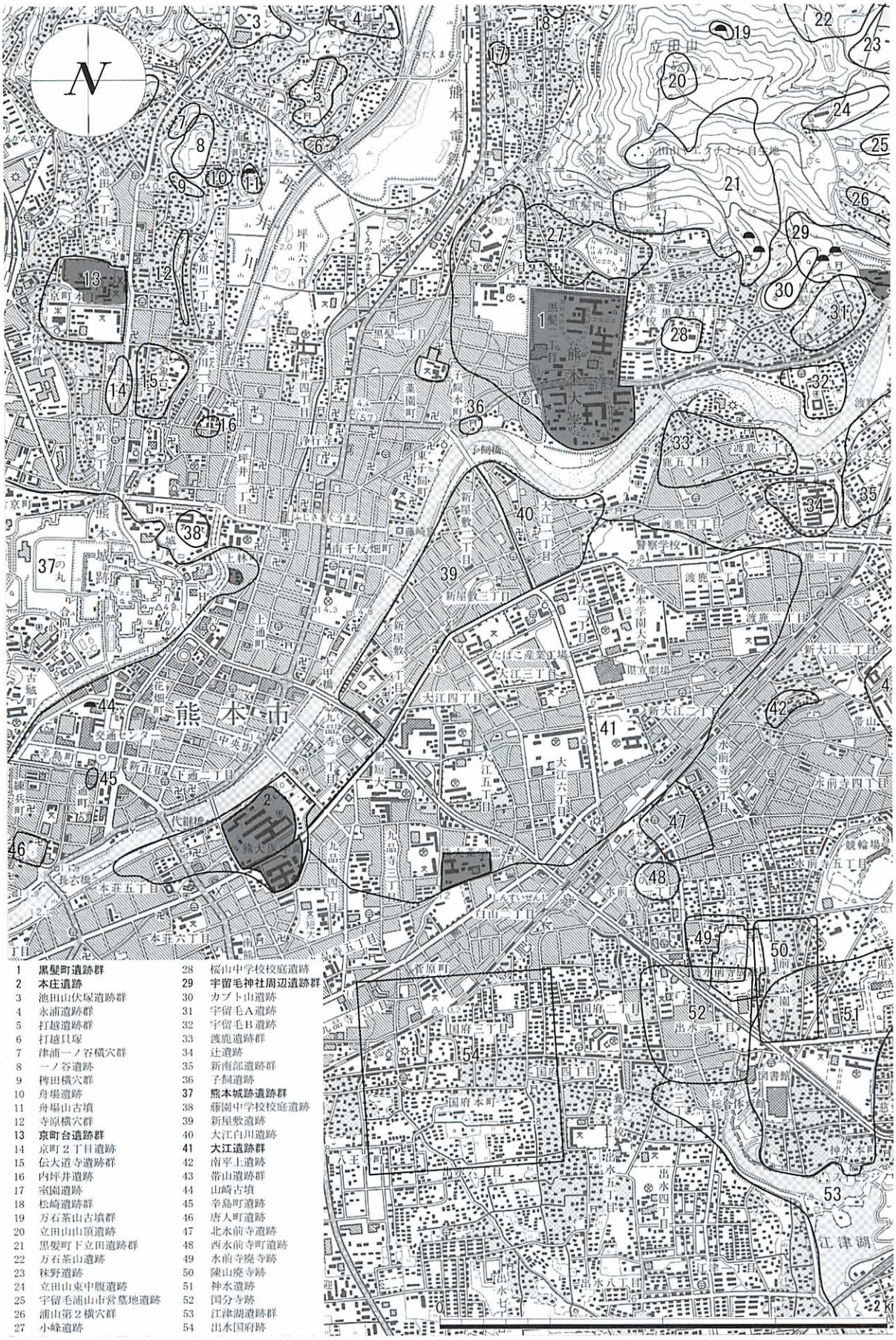
0935調査地点は，武夫原（運動場）東・南周囲と生協・文化部室にかけての道路沿いに配線工事を行った．武夫原では，人孔部分で包含層・遺構面を確認できた．武夫原は旧制第五高等学校時代から新制大学発足にかけての時期に，運動場として造成・整備されている．1994年の照明灯設置にともなう調査の結果においても，造成等による撹乱を確認した一方で住居址や溝の可能性をもつ遺構を確認しており，今後とも掘削の際には注意が必要である．

0932調査地点は，旧図書館工学部分室建物内であったため，遺構の残り具合については不明であったが，地下ピット設置部分のみ調査を行った結果、古代の溝が検出され，建物基礎部分以外は破壊を免れていることが判明した．

表１　熊本大学敷地埋蔵文化財包蔵地指定一覧（アミ部分は本年度調査した地区を示す）

No.	地区名（学部名）	所　在　地	遺跡名称	遺跡の種類	遺跡の時代	備　　考
1	黒髪北地区（法・文・教・大教センター） 黒髪北地区（教育学部附属養護学校）	熊本市黒髪２丁目40－1 熊本市黒髪５丁目17－1	黒髪町遺跡	集落址	縄文・弥生・奈良・平安	
2	黒髪南地区（工・理）	熊本市黒髪２丁目39－1	黒髪町遺跡	集落址	縄文・弥生・奈良・平安	
3	京町地区（教育学部附属小・中学校）	熊本市京町本丁5－12	京町台遺跡	集落址	弥生・近世	
4	城東地区（教育学部附属幼稚園）	熊本市城東5－9	熊本城址	城館址・熊本城関連遺構	近世	
5	教育学部新南部農場	熊本市新南部居屋敷240－1	新南部遺跡	散布地	縄文・弥生	
6	合津マリンステーション	上天草市松島町大字合津6061	前島貝塚	集落址	縄文・弥生	1995年度の調査によって貝塚でないことが判明
7	本荘中地区（医学部）	熊本市本荘２丁目2－1	本庄遺跡	散布地・集落址	縄文・弥生・奈良・平安・中世	
8	本荘北地区（医学部附属病院）	熊本市本荘１丁目1－1	本庄遺跡（熊大病院敷地遺跡）	散布地・集落址・墓地	縄文・弥生・古墳・奈良・平安・近代	
9	本荘南地区（保健学科）	熊本市九品寺４丁目24－1	本庄遺跡	散布地・集落址	縄文・弥生・奈良・平安・中世	周辺遺跡
10	薬学部	熊本市大江本町5－1	大江遺跡群	官衙址	奈良・平安	周辺遺跡
11	大江地区	熊本市渡鹿４丁目1－1	大江遺跡	集落址	奈良・平安	
12	宇留毛地区（職員宿舎）	熊本市黒髪７丁目	宇留毛神社周辺遺跡群	散布地	弥生・奈良・平安	

図１　黒髪町遺跡・本庄遺跡の位置と周辺遺跡の分布図（1/25000）



平成21年度埋蔵文化財発掘調査結果一覧

表２　2009年度調査一覧

調査期日	調査番号	地点名	調査の種類	調査面積	時代	遺構・遺物
09・4・15 4・17	0901	（黒髪南）西門改修植栽移植工事	立会調査	18㎡		遺構・遺物なし
09・4・20 4・22 4・24 4・27 4・30 5・1 5・25 5・27 5・28	0902	（黒髪南）西門改修工事	立会調査	422㎡		内扉・塀新設に際し黒褐色の住居址らしき遺構検出 それ以外遺構・遺物なし
09・4・23	0903	（本荘中）中地区構内カーブミラー取設工事	立会調査	1.19㎡		遺構・遺物なし
09・5・8	0904	（宇留毛）学生寄宿舎駐輪場新営工事	立会調査	16㎡		遺構・遺物なし
09・5・8	0905	（黒髪南）屋外雨水管改修工事	立会調査	5.8㎡		遺構・遺物なし
09・5・27	0906	（大江）薬学部育薬フロンティアセンター新営その他工事	立会調査	0.8㎡		遺構・遺物なし
09・5・28	0907	（医病）基幹整備（電話交換設備更新）工事　その1（変更）	立会調査	11.48㎡		遺構・遺物なし
09・6・5	0908	（医病）基幹整備（電話交換設備更新）工事　その2	立会調査	1.6㎡		遺構・遺物なし
09・6・4	0909	（大江）薬学部樹木伐採・移植工事	立会調査	10.48㎡		遺構・遺物なし
09・6・11	0910	（黒髪北）ガス配管修理	立会調査	3㎡		遺構・遺物なし
09・7・3 7・22	0911	（大江）薬学部育薬フロンティアセンター新営その他電気設備工事	立会調査	3.24㎡		遺構・遺物なし
09・7・6	0912	黒髪団地（東地区）インフラ整備	立会調査	1.2㎡		遺構・遺物なし
09・7・8	0913	（黒髪北）非常勤講師宿泊施設屋外給水管漏水修理	立会調査	0.6㎡		遺構・遺物なし
09・7・8	0913	（黒髪東）特別支援学校屋外給水管漏水修理	立会調査	0.8㎡		遺構・遺物なし
09・7・13	0914	（黒髪北）文法学部本館耐震ブレース基礎まわり工事	立会調査	3.5㎡		遺構・遺物なし
09・7・28	0915	（宇留毛）留学生宿舎新営電気設備工事（追加その５）	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし
09・8・7	0916	（本荘中）動物資源開発研究施設棟南側屋外配管漏水修理	立会調査	3㎡		遺構・遺物なし
09・8・10	0917	（本荘中）構内通路屋根取設工事	立会調査	0.44㎡		遺構・遺物なし
09・9・4	0918	（黒髪北）教育学部本館・文法学部本館Ⅱ期改修機械設備工事	立会調査	50.37㎡		遺構・遺物なし
09・9・4	0919	（黒髪北）文法学部本館Ⅱ期改修外構工事（変更）	立会調査	464.8㎡		遺構・遺物なし
09・9・4 10・2・24	0920	（黒髪北）文法学部本館Ⅱ期改修東側外構工事	立会調査	3.56㎡		遺構・遺物なし
09・9・29	0921	（黒髪北）教育学部本館・文法学部本館Ⅱ期改修電気設備工事	立会調査	8.26㎡		遺構・遺物なし
09・10・6	0922	（黒髪南）工学部研究実験棟準備室Ａ種接地工事	立会調査	3.6㎡		遺構・遺物なし
09・10・13 10・27～ 10・30	0923	（医病）東病棟新営機械設備（衛生）工事（変更）	立会調査/発掘調査	工区①0㎡ ⑨15.9㎡ （0925含）	古代	ピット・住居 土師器坏・須恵器蓋

調査期日	調査番号	地点名	調査の種類	調査面積	時代	遺構・遺物
11・12 11・13				⑤⑥一部50㎡⑪5.3㎡		
09・10・19 10・23 10・27～ 10・30	0924	（医病）東病棟新営機械設備（衛生）工事　追加その２	立会調査／発掘調査	工区③39㎡④54㎡⑦25.5㎡⑨15.9㎡（0923・0925含）	古代	ピット
09・10・27～ 10・30 11・12 11・13 11・19 11・24～ 11・26 12・１～ 12・３	0925	（医病）東病棟新営機械設備（衛生）工事　追加その１	立会調査／発掘調査	工区⑨15.9㎡（0923含）⑥7.2㎡⑧7.2㎡⑩23.7㎡	古代	ピット・住居址・溝 土師甕・高坏 土師器・須恵器
09・10・13 10・28	0926	（医病）基幹整備（自家発電設備更新）工事	立会調査	64㎡		土師器
09・10・20	0927	（黒髪南）ゴミ集積場取設工事	立会調査	9.19㎡		土師器
09・10・21	0928	（黒髪北）教育学部本館・文法学部本館Ⅱ期改修機械設備工事	立会調査	3.3㎡		遺構・遺物なし
09・10・29	0929	（医病）第６病棟スロープ取設工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし
09・11・４	0930	（本荘北）基礎研究棟北側プレハブ小屋改修工事	立会調査	0.9㎡		磁器
09・11・10 11・18	0931	（医病）東病棟北側排水管等取設工事	立会調査	14㎡		A・C遺構・遺物なし B住居址・縄文後期土器・古代土師器・須恵器
09・11・10 11・30～ 12・３ 12・14	0932	（黒髪南）旧図書館工学部分室他改修工事	立会調査／発掘調査	地中梁試掘・ピット試掘0.98㎡ 外溝工事230.7㎡	古代	溝 古代土師器・須恵器
09・12・９	0933	（京町）附属小学校プール他改修機械設備工事	立会調査	1.8㎡		遺構・遺物なし
09・12・９	0934	（黒髪南）旧図書館工学部分室他改修電気設備工事	立会調査	14.64㎡		遺構・遺物なし
10・１・７ １・12 １・19 １・28 ２・２	0935	（黒髪北）体育館改修電気設備工事	立会調査／発掘調査	423.21㎡	古代・近代	ピット 土師器甕・坏・須恵器 摩耗した瓦・磁器
10・１・12	0936	（医病）旧こばと保育園駐車場整備	立会調査	12㎡		埋甕
10・１・13 ２・23	0937	（黒髪南）旧図書館工学部分室他改修機械設備工事	立会調査	56㎡		遺構・遺物なし
10・１・14 ２・17～ ２・19	0938	（黒髪南）エコロジーシステム実験室接地工事	立会調査／発掘調査	10㎡	縄文	溝 縄文土器片
10・１・15	0939	（黒髪北）教育学部本館Ⅱ期改修西側外構工事	立会調査	12㎡		遺構・遺物なし
10・１・26	0940	（黒髪南）生物生息環境音響解析室新営工事	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし

調査期日	調査番号	地点名	調査の種類	調査面積	時代	遺構・遺物
10・1・29	0941	（黒髪北）体育館屋外階段改修工事	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし
10・1・29	0942	（黒髪北）体育館屋外配水管改修	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし
10・2・2	0943	（黒髪南）旧図書館工学部分室外構工事	立会調査	7㎡		V字型遺構（溝？）
10・2・8	0944	（黒髪北）教育学部本館Ⅱ期改修東側外構工事	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし
10・2・8	0945	（黒髪北）教育学部本館・文法学部本館改修機械設備工事（Ⅱ期）	立会調査	3㎡		遺構・遺物なし
10・2・8	0946	（黒髪北）教育学部本館・文法学部本館改修機械設備工事（Ⅱ期）追加	立会調査	7.2㎡		遺構・遺物なし
10・2・12	0947	（大江）薬学部講義棟前外灯工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし
10・2・15	0948	（黒髪北）教育学部東教室既設駐輪場撤去・新設他工事	立会調査	45㎡		遺構・遺物なし
10・2・15	0949	（黒髪北）教育学部東教室外構工事	立会調査	0.5㎡		遺構・遺物なし
10・2・15	0950	（黒髪北）教育学部東教室耐震改修機械設備工事	立会調査	4㎡		遺構・遺物なし
10・2・15	0951	（黒髪北）教育学部東教室耐震改修電気設備工事	立会調査	0.5㎡		遺構・遺物なし
10・2・22	0952	（黒髪南）生物生息環境音響解析室新営機械設備工事	立会調査	1.5㎡		遺構・遺物なし
10・2・22	0953	（黒髪南）生物生息環境音響解析室新営電気設備工事	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし
10・3・1	0954	（黒髪南）環境整備（駐輪場等）工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし
10・3・1	0955	（黒髪南）環境整備駐輪場外灯設備工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし
10・3・2	0956	（本荘中）ボイラー室変電設備改修その他工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし
10・3・3	0957	（大江北）薬学部屋外通路屋根取設工事	立会調査	3㎡		遺構・遺物なし
10・3・4	0958	（黒髪東）教育学部附属特別支援学校小学部遊具設置工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし
10・3・4	0959	（黒髪北）教育学部本館B棟配水管・連結送水管工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし
10・3・5	0960	（本荘北）医学部駐輪場取設工事	立会調査	17㎡		遺構覆土検出、計画変更により保存・遺物なし
10・3・8	0961	（黒髪南）備蓄倉庫2取設工事	立会調査	0.83㎡		遺構・遺物なし
10・3・8	0962	（黒髪南）大学院自然科学研究科実験棟地圏探査工学実験室改修電気設備工事	立会調査	0.7㎡		遺構・遺物なし
10・3・10	0963	（京町）附属中学校校舎南側雨水管改修工事	立会調査	0.63㎡	弥生	ピット・浅い窪み 弥生時代甕棺口縁部
10・3・11	0964	（黒髪北）体育館改修電気設備工事（電柱撤去）	立会調査	1.2㎡		遺構・遺物なし
10・3・11	0965	（黒髪北）文法学部本館駐輪場撤去工事	立会調査	0.48㎡		遺構・遺物なし
10・3・12	0966	（黒髪北）保健センター前屋外消火栓取替工事	立会調査	0.8㎡		遺構・遺物なし
10・3・15	0967	（黒髪南）事務局来客用駐車場取設工事	立会調査	2.34㎡		遺構・遺物なし
10・3・16	0968	（黒髪北）共用棟黒髪6揚水設備撤去他給水設備改修工事	立会調査	3.76㎡		遺構・遺物なし
10・3・19	0969	（黒髪東）ソフトテニスコート給水工事	立会調査	0.24㎡		遺構・遺物なし
10・3・23	0970	（京町）附属中学校教育学部同窓会弔魂碑案内標柱設置工事	立会調査	0.12㎡		遺構・遺物なし

調査期日	調査番号	地点名	調査の種類	調査面積	時代	遺構・遺物
10・3・23	0971	（黒髪北）文法学部古紙倉庫設置工事	立会調査	1.8㎡		遺構・遺物なし
10・3・26	0972	（本荘南）保健学科E棟給水配管工事	立会調査	8.7㎡		遺構・遺物なし
10・3・26	0973	（大江北）薬学部蕃滋館屋外給水配管工事	立会調査	0.34㎡		遺構・遺物なし

0938調査地点は，いわゆる黒髪南地区敷地の外（東側）にある．かつて寮が建っていた場所で，現在は動物飼育小屋・実験用園地・実験用プレハブがある．調査は1997年に建設したエコロジーシステム実験棟（9907）調査地点の南側に隣接する．今回の調査では，予想されたとおりに縄文時代後期の遺物が出土したほか，遺構としては古代の溝が検出された．

本年度実施した発掘調査では，これまでの調査成果を追認・補強する結果を得ることができた．また広範囲・多地点に及んだ立会調査では構内遺跡における遺構の残り具合をしることができ，今後の事業・調査に有益な情報を得ることができた．特に本年度からは黒髪北地区での再開発事業が本格化し，情報が乏しかった黒髪北地区において地下の状況を少なからず把握できた．

やむをえず埋蔵文化財の破壊を免れることのできない工事では発掘調査を実施して記録をのこしたが，設計変更が可能な箇所では保存処置をとることができた．遺構の遺存が不明であった0932調査地点は，立会調査の意義をなした一方で，掘削の範囲特に深さが軽微であり，埋蔵文化財への影響がない工事も多かった．既往の調査結果が，工事設計や行政指導に今後とも有効に反映・活用されるよう期待する．

第Ⅱ章　調査の記録

Ⅱ－1　黒髪北地区　（図2・3参照）

1．（黒髪北）ガス配管修理に伴う立会調査（0910）

＜調査期間＞

2009年６月11日

＜調査対象面積＞

3㎡

＜調査員＞

小畑弘己.

＜調査概要・結果＞

３年ごとに実施している全学的なガス検査によってガス漏れ箇所が発見されたことを契機とする．市文化課に緊急工事で立会を承諾されたと，11日朝の掘削工事の開始直前になって施設部担当者が調査依頼をしたものである．

地表下1.4mほどの深さまでおよそ1.5×2mの範囲で掘削したが，既存埋設管の掘削部内に相当し，攪乱を受けていた．遺物・遺構ともに発見していない．

写真１　調査区遠景（南より）

写真２　埋設ガス管検出状況（北より）

2．（黒髪北）非常勤講師宿泊施設屋外給水管漏水修理に伴う立会調査（0913）

＜調査期間＞

2009年７月８日

＜調査対象面積＞

1.8㎡

＜調査員＞

大坪志子.

＜調査概要・結果＞

水道管の破損による水漏れが発生したため，熊本市教育委員の許可を得て，立会のもと修理工事を行った．

知命堂の南側，くすのき会館との渡り廊下西の階段付近において，0.96×0.66mの範囲を掘削した．地表下0.52mで既設管を検出し，作業のため0.65mまで掘削したが埋土内であった．遺構・遺物の検出はない．

写真３　知命堂前作業風景（南西より）

写真４　掘削状況（西より）

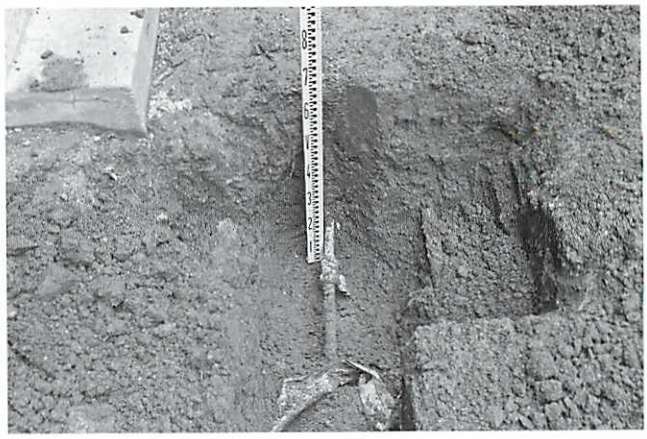


図２　黒髪北地区西半における調査地点配置図（1/2000）

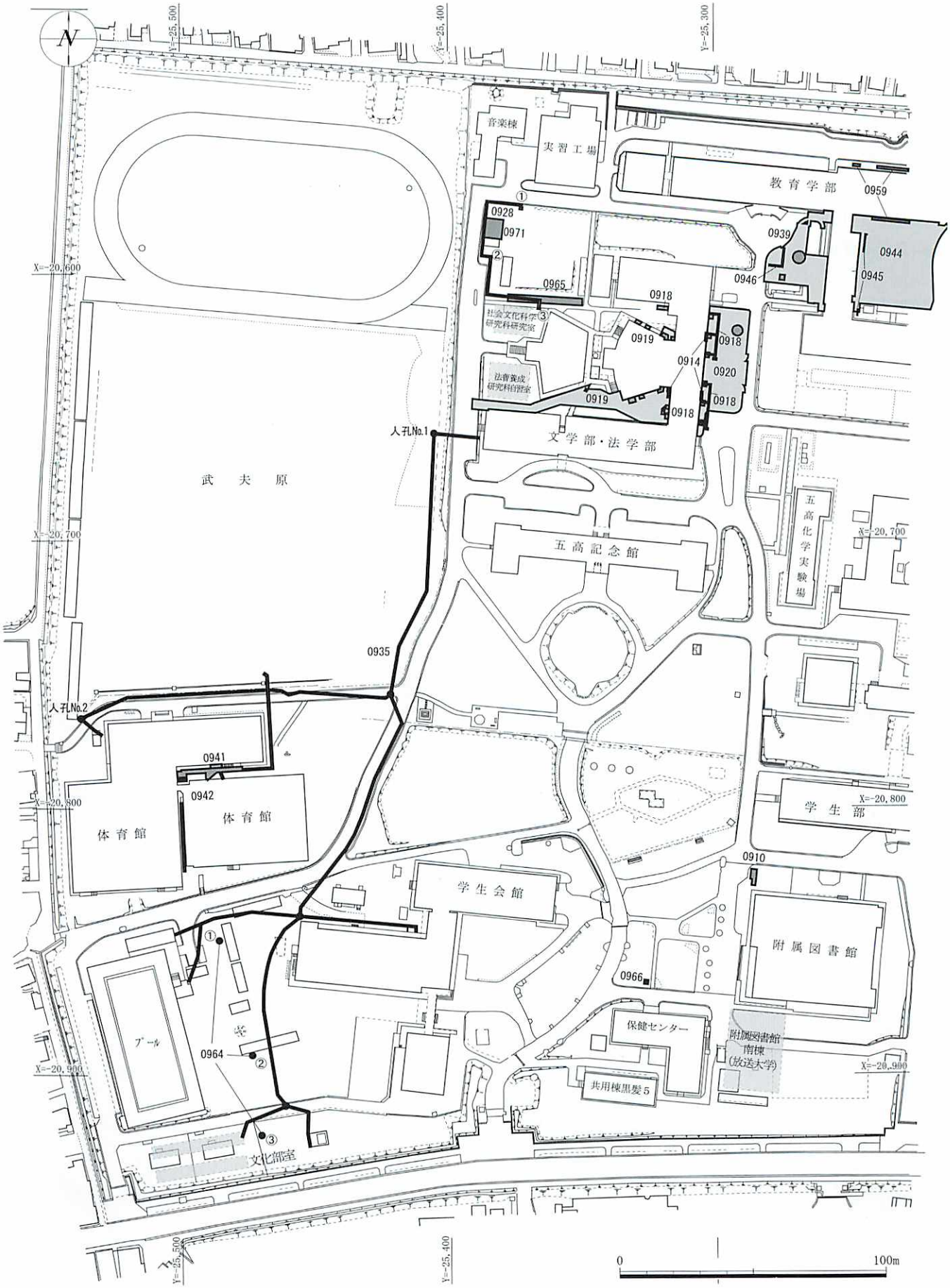
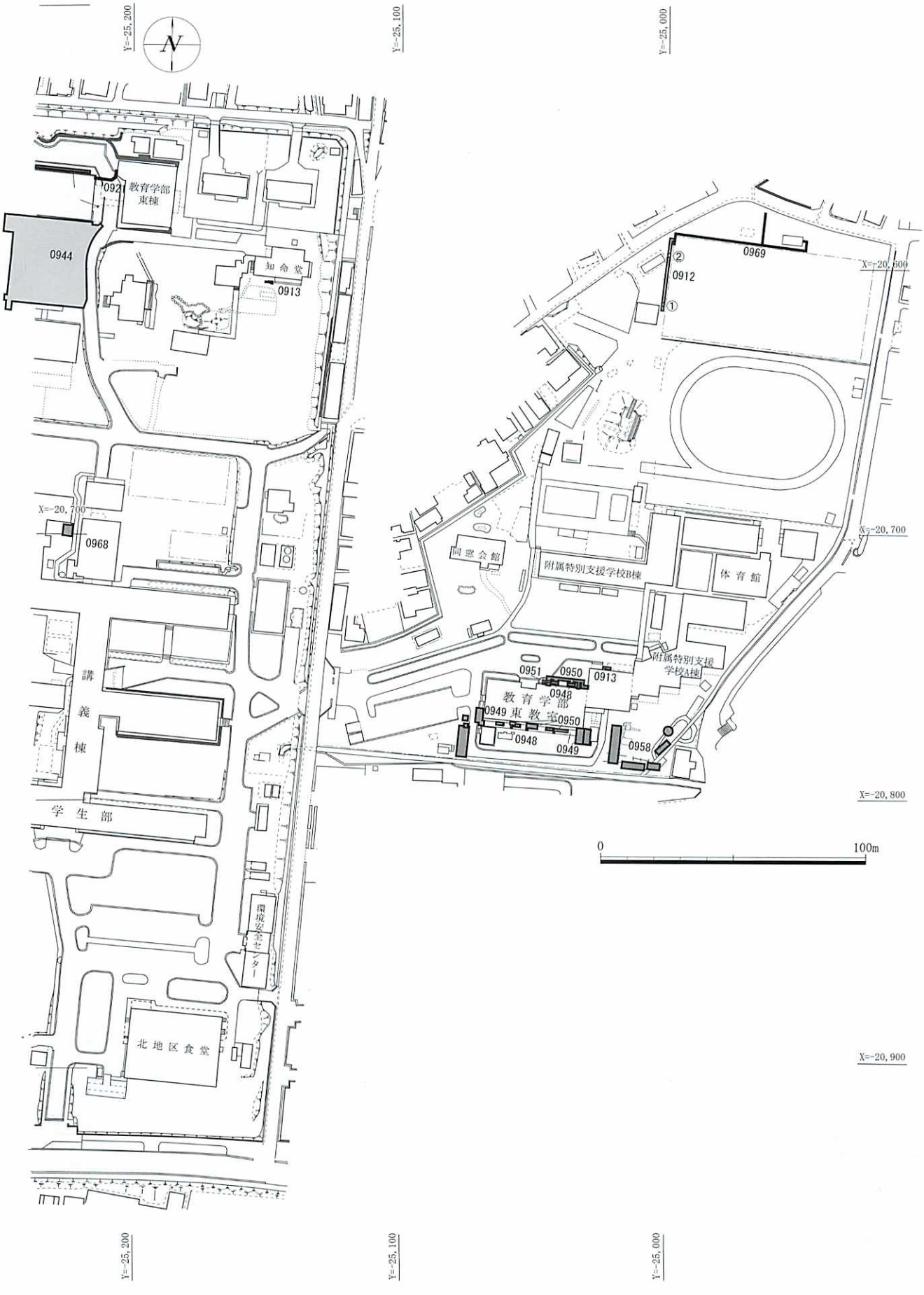


図３　黒髪北地区東半における調査地点配置図（1/2000）



3．（黒髪北）文法学部本館耐震ブレース基礎まわり工事に伴う立会調査（0914）

＜調査期間＞

2009年７月13日

＜調査対象面積＞

７㎡

＜調査員＞

大坪志子．

＜調査概要・結果＞

既設の地中梁に耐震ブレース基礎を設置する工事である．文法学部棟本館の西側と東側において，立会調査を行った．いずれの地点においても，既存の地中梁の脇を幅20cm，梁の頭から深さ10cm 程度掘削したが，建設時の掘り方内であり遺構・遺物の検出はなかった．

写真５　文法東側地点作業風景（西より）

写真６　文法東側地点掘削状況（西より）

写真７　文法西側地点掘削状況（西より）

4．（黒髪北）教育学部本館・文法学部本館Ⅱ期改修機械設備工事に伴う立会調査（0918）

＜調査期間＞

2009年９月４日

＜調査対象面積＞

50.37㎡

＜調査員＞

大坪志子．

＜調査概要・結果＞

文法学部本館東側と西側に給排水管を敷設する工事である．東側は南北２箇所に分かれるが，それぞれ最も掘削深度が深くなる枡設置部分および枡につながる配管の下手部分の掘削について立会った．北側の枡設置部分で地表下0.75m，南側の枡設置部分では地表下0.55m程度を掘削したが，遺構・遺物の検出はなかった．校舎に分岐する配管は0.3m程度と浅く，文化財への影響は無いと判断した．

文法学部本館西側では，0.7mまで一部を掘削したが，この深さでは遺構・遺物の検出は無く，残りの箇所については慎重に工事するよう指示した．

写真８　文法学部本館東側北地点作業風景（南東より）

写真９　掘削状況（北より）

写真10　南地点掘削状況（北より）

５．（黒髪北）文法学部本館Ⅱ期改修外構工事（変更）に伴う立会調査（0919）

＜調査期間＞

2009年９月４日

＜調査対象面積＞

464.8㎡

＜調査員＞

大坪志子.

＜調査概要・結果＞

本件は文法学部本館西側と，Ａ講義棟の周囲に集水枡を設置し，文法学部棟とＢ講義棟を結ぶ渡り廊下の屋根の基礎設置，舗装等の工事である．もっとも掘削が深い集水枡部分と，渡り廊下の屋根の基礎部分の掘削について立会調査を行った．

集水枡は，文法学部棟沿いとＡ講義棟沿いの２箇所について掘削を行ったが，いずれも建設時の掘り方内であり，遺構・遺物の検出は無かった．また，屋根基礎についても，地表下0.7ｍまで掘削したが，現代埋土内であり，遺構・遺物の検出はない．他の工事は掘削がこれらより浅いため，慎重に工事するよう指示した．

写真11　Ａ講義棟角集水枡部作業風景（西南より）

写真12　Ａ講義棟角集水枡部掘削状況（南より）

写真13　文法学部棟沿集水枡部掘削状況（西より）

写真14　渡り廊下屋根基礎部分作業風景（北東より）

写真15　基礎部分掘削状況（北より）

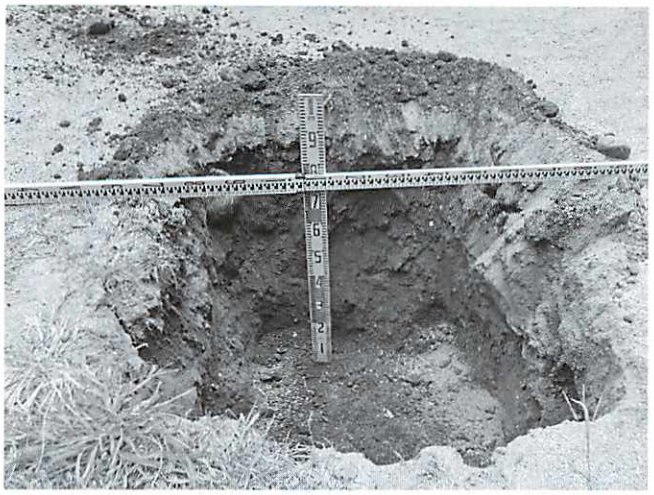
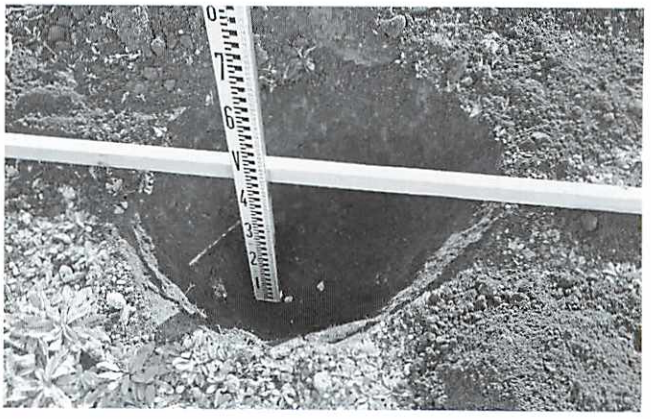


写真16　集水枡部作業風景（東より）

写真17　掘削状況（北より）

写真18　植栽地点作業風景（東より）

写真19　植栽地点掘削状況（西より）



6．（黒髪北）文法学部本館Ⅱ期改修東側外構工事に伴う立会調査（0920）

＜調査期間＞

2009年９月４日

2010年２月24日

＜調査対象面積＞

3.56㎡

＜調査員＞

大坪志子.

＜調査概要・結果＞

文法学部本館東側に，校舎沿いに集水枡を設置する工事である．１×１ｍの範囲を地表下0.9ｍまで掘削したが，校舎建設時の掘方内と見られ，遺構・遺物の検出はなかった．残りの箇所については慎重に工事を進めるよう指示した．

文法学部棟の東側の緑地帯に，樹木を移植する計画については，急遽計画変更で移植は行わず，ベンチを数箇所設置することとなった．変更については熊本市教育委員会に了承を得て，立会調査を行った．校舎際に，低木を植栽する箇所では，0.4ｍ掘削したが，埋土内であり文化財には影響がないと判断した．ベンチ設置については，ある程度すきとりを行った上で樹木の抜き取り跡等を避け，0.25ｍの掘削を行った．埋土内であり，施工よしとした．

写真20　ベンチ基礎地点作業風景（南西より）

写真21　ベンチ基礎地点掘削状況（南東より）

7．（黒髪北）教育学部本館・文法学部本館Ⅱ期改修電気設備工事に伴う立会調査（0921）

＜調査期間＞

2009年９月29日

＜調査対象面積＞

8.26㎡

＜調査員＞

小畑弘己.

＜調査概要・結果＞

建物間の道路を横断する掘削工事である．掘削部の西側半分は既存の排水管により部分的に破壊を受けている．また，東西両端部も建物基礎によりすでに破壊されている状況である．部分的に残るプライマリーな土壌堆積を観察すると，アスファルトの下，地表下0.5m までは道路基礎のバラス層であり，地山層である黄褐色土は地表下90cm ほどで確認できた．その間は暗茶褐色土層が存在するが，遺物や遺構はまったく確認できなかった．

写真22　調査区遠景（南より）

写真23　掘削状況（西より）

写真24　土層堆積状況（南より）

8．（黒髪北）教育学部本館・文法学部本館Ⅱ期改修機械設備工事に伴う立会調査（0928）

＜調査期間＞

2009年10月21日

＜調査対象面積＞

46.4㎡（内3.3㎡）

＜調査員＞

大坪志子.

＜調査概要・結果＞

既設の消火栓から給水管を配管する工事である．細長く掘削するため，３箇所において試掘を行うことにした．

分岐点である消火栓の北側を1.5×1.0mの範囲で掘削したところ（①地点），地表下0.6m程度で古代の遺物包含層を検出した．工事に必要な深さは確保されるため，これ以上の掘削を行わないことを確認，慎重に作業するように指示した．遺構・遺物の検出はない．

社会文化科学研究科研究室北側のプレハブ群近くが，管路の中間地点であり，ここを②地点として試掘した．0.8×1.5mの範囲を地表下0.7mまで掘削したが，埋土内であり遺構・遺物の検出はない．

社会文化科学研究科研究室建物の北東隅を③地点として0.6×1.0mを掘削した．地表下0.7mまで掘削したが，埋土内であり遺構・遺物の検出はない．

写真25　①地点作業風景（北西より）

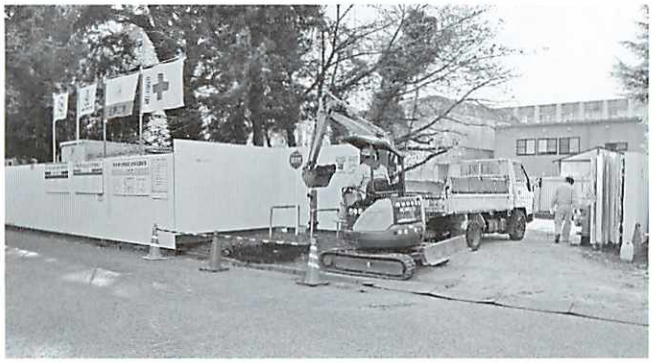


写真26　①地点掘削状況（西より）

写真27　③地点掘削状況（北より）

9．（黒髪北）体育館改修電気設備工事に伴う立会・発掘調査（0935）

＜調査期間＞

2010年１月７日・12日・19日・22日・28日

2010年２月２日

＜調査対象面積＞

423.21㎡

＜調査員＞

小畑弘己．

＜調査概要・結果＞

法学部棟から引き込んで道路を超えて西側の武夫原内を経由して体育館へ繋がる経路である．法学部棟から武夫原の最初の人孔（人孔No.１）およびその間の配線部，武夫原南東端の人孔（人孔No.２）部分を立会調査した．人孔No.1において土器の包含層を検出したので，市文化課に連絡し，そのまま発掘へ移行してよい旨を受け，発掘調査に切り替えた．

調査は小畑が一人で行った．

＜人孔No.１＞

人孔No.1部分では，遺物包含層と地山に掘り込まれた柱穴と思われる直径0.4m，深さ0.9m余りのピット１つを検出した．それ以外にやわらかな黒色土を含む不整形な0.3～0.4mほどのピットがあるが，深さが0.2mと浅く，遺物も含まないことから，これらは根穴と思われる．

基本層序は，上から砂層（厚さ15cm），バラス層（厚さ15cm），埋め土層（厚さ35cm），２層：黒褐色土層（Hue10YR1.7/1）－遺物包含層（厚さ５cm），３層：黒褐色土層（Hue10YR3/2）－遺物包含層（厚さ30cm），４層：黒褐色土層（Hue7.5YR3/2）：地山層．肉眼では，２層が濃い黒，３層が暗茶褐色，４層が茶褐色という色感である（写真28）．

出土遺物

柱穴１（M1）からは，土師器甕・坏を中心として，須恵器も含め20点ほどの破片が出土した．検出面から深さ0.5mほどのところに集中していた．

＜人孔 No.２＞

人孔No.2は，埋め土層の下が，淡茶褐色土層であり，摩耗した瓦片や磁器茶碗の破片などが出土した．近代以降のものと思われ，これを本調査区の１層とした．地表面からの深さ1.2mほどを下げた時点で，人孔No.1の２層と思われる遺物包含層が厚さ0.1mほど堆積しているのを確認した．この層からは須恵器高台碗の口縁部の破

片１点が出土した．掘削部の西半分は，依然１層と同じであり，南側壁の土層を確認したところ，２層を切り込んでおり，南北方向の溝になるものと思われる．掘削深度がこれ以上深く及ばないため，この面で調査を終了している（写真29）．

基本層序は，砂層（厚さ20cm），バラス層（20cm），１層：淡茶褐色土層（Hue10YR3/3）－近代畑もしくは溝の覆土層（厚さ80 cm），２層：黒褐色土層（Hue10YR1.7/1）－遺物包含層，３層：黒褐色土層（Hue10YR3/2）－遺物包含層である．

出土遺物としては，１層から出土した瓦？２点，磁器茶碗１点，２層から出土した須恵器高台付椀破片１点がある．

＜道路横断部分＞

法学部棟と人孔No.1を繋ぐ配管部分の掘削は，道路下0.65mであり，この部分は0.7mで人孔No.1の遺物包含層である２層が現れる．道路西端から人孔No.1の掘削部分の間は，高圧ケーブルや給水管，暗渠などで部分的に撹乱を受けていた．遺物・遺構ともに検出していない（写真30）．

武夫原内の人孔No.1と人孔No.2間は，人孔部分の土層の観察により，グランドレベルから深さ0.65mまでは埋め土層もしくは近代畑土であり，遺物包含層である２層上面のレベルは南へ行くにしたがい低くなるため，掘削深度が包含層に達することはないことから，慎重に工事を進めるよう指導した．

＜体育館前～武夫原南側道路＞

2010年１月13日に体育館前の人孔部分について立会調査を実施した．地表下0.65mほどで暗褐色土になり，地山の褐色土は1.0mほどで露出する．その間の0.8m付近に厚さ２cmあまりの硬い層がレンズ状に断片的に認められたが，人為的なものである可能性は少ない．遺構・遺物ともに認められなかった．

＜便所横～学生会館前交差点＞

2010年１月19日に立会調査を実施した．武夫原南東端の人孔部分の調査と土層の堆積状況は同じであり，配線部分の掘削深度である地表下0.65mではまだ近代もしくは近世の畑土であり，遺構・遺物ともに検出していない．

＜学生会館北側広場～西側道路＞

2010年１月22日に立会調査を実施した．人孔部分はほとんど埋設管（排水管）や不明の撹乱によって破壊されており，遺構・遺物ともに検出していない．わずかに残る未撹乱部分での土層観察によると，地表下0.8mまで埋土であり，深さ1.2～1.1m部分に黒色の強い色調の層がある．その上下は暗褐色土である．未撹乱部分においては土器などの包含される状況は確認できなかった．地表下1.35mまで掘削したが，固い地山には達していないようである．これから東側に延び，建物に引き込まれる部分については，人孔から３mほど掘削に立ち会ったが，掘削深度は地表下0.65mであり，埋土層内に収まるため，そのまま工事を進めるように指導した．

道路部分は人孔から横断部分と南側に延びる部分があるが，南側に延びる部分約20mの南北端２mずつを立会い，土層を確認したが，掘削深度0.7mの上部はすべて埋土であり，既撹乱部分に相当することから，それ以後の工事は慎重に進めるよう指導した．

＜文化部室東側人孔～北地区ポンプ室＞

2001年１月28日に立会調査を実施した．文化部室建設時の発掘調査の成果（調査番号9802）などの成果により，遺物包含層は地表下1.0mで検出されることが予想されることから，それより掘削深度が深い人孔部分のみ立会調査を実施した．その結果，1.05mで直径5mmほどの赤色土のパミスを含む黒色土層が現れた．遺物包含層相当層と思われ，徐々に掘削深度1.35mまで下げたが，遺物は出土しなかった．

＜体育館南側～プール配線＞

2010年２月２日に立会調査を実施した．地表下0.4mまでは現代埋土であり，その下部は0.65mまで黒褐色土であった．その下部は明茶褐色の土層となる．これにはニガ土が含まれ，地山であろうと思われるが，遺構は検出できなかった．上部の黒褐色土層を含め，遺物は出土していない．

写真28　人孔 No. 1 遺構検出状況（南より）

写真29　人孔 No. 2 掘削後状況（北より）

写真30　道路横断部分土層（北より）

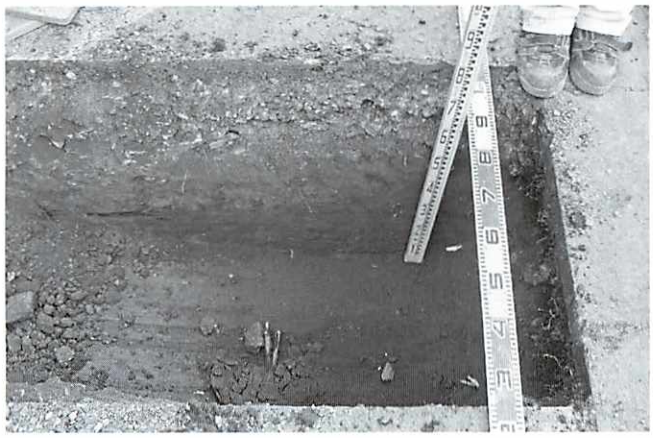


写真31　掘削風景（南より）

写真32　掘削後状況（西より）

10.（黒髪北）教育学部本館Ⅱ期改修西側外構工事に伴う立会調査（0939）

＜調査期間＞

2010年１月15日

＜調査対象面積＞

12㎡

＜調査員＞

小畑弘己.

＜調査概要・結果＞

樹木伐根部分のみ立会調査の指導であったため，掘削に立ち会った．根の深度が浅く地表下0.3～0.4mほどしか掘削しなかったため，埋土内にとどまり，遺構・遺物ともに検出していない．

11.（黒髪北）体育館屋外階段改修工事に伴う立会調査（0941）

＜調査期間＞

2010年１月29日

＜調査対象面積＞

1㎡

＜調査員＞

小畑弘己.

＜調査概要・結果＞

階段の基礎掘削部の下をおよそ0.5m掘削し，基礎を作り直す工事であった．掘削部分は，体育館本体の基礎掘り部分内に相当し，すべて埋土（撹乱土）であった．

写真33　掘削風景（東より）

写真34　掘削後（南より）

12.（黒髪北）体育館屋外配水管改修工事に伴う立会調査（0942）

＜調査期間＞

2010年１月29日

＜調査対象面積＞

１㎡

＜調査員＞

小畑弘己.

＜調査概要・結果＞

体育館の南側から東側を通り，北側道路を横断して武夫原内のマンホールへ繋がる現配水管ルートに沿って，新設の配水管を通す工事である．マンホールに近い部分で地表下1.4mで，南側のコーナー部分で0.8mほどである．この２箇所において土層および文化層の有無の確認を行った．ほぼ現配水管の真横を幅0.5mほど掘削するため，そのほとんどが攪乱されており，自然層は北側の第１トレンチ東側で一部確認できたにすぎない．この部分においては地表下0.6mで旧地表土が確認できたが，これも近代もしくは近世の畑土であると思われる．その下部においても遺構・遺物ともに確認していない．

写真35　第１トレンチ掘削風景（東より）

写真36　第１トレンチ掘削後（南より）

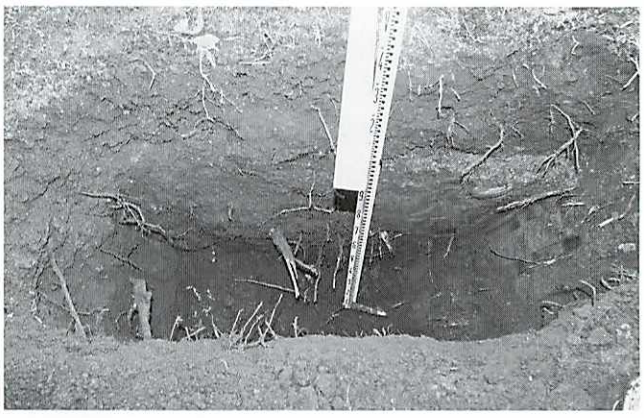


写真37　第２トレンチ掘削風景（東より）

写真38　第２トレンチ掘削後（西より）

13.（黒髪北）教育学部本館Ⅱ期改修東側外溝工事に伴う立会調査（0944）

＜調査期間＞

2010年２月８日

＜調査対象面積＞

１㎡

＜調査員＞

小畑弘己.

＜調査概要・結果＞

立会調査対象地は道路面より0.8mほど高い緑地部であり，盛土が予想された．そこで，最も掘削深度が低い部分であるスロープと道路の接点部分である，調査対象地の北東部を掘削して，土層の状態を調査した．その結果，地表下0.35mで赤褐色のパミスを含む暗褐色土層を確認した．その上部はガラスやコンクリートガラの混じる埋土であった．この暗褐色土層は乱されていない土層で，近世以前の堆積物である可能性が高いが，他の掘削部分は，掘削深度が0.2mほどであるため，影響はないものと判断された．遺構・遺物ともに確認していない．

14.（黒髪北）教育学部本館・文法学部本館改修機械設備工事（Ⅱ期）に伴う立会調査（0945）

＜調査期間＞

2010年２月８日

＜調査対象面積＞

３㎡

＜調査員＞

小畑弘己.

＜調査概要・結果＞

調査対象地は建物に隣接しており，建物基礎掘りの範囲内に収まることが予想された．掘削（深度：0.5m）の結果，予想どおり，攪乱された土層が堆積しており，遺構・遺物などは確認できなかった．

写真39　掘削状況遠景（南東より）

写真40　北東端掘削後（東より）

写真41　掘削状況（南より）

写真42　北側掘削部（東より）

15. （黒髪北）教育学部本館・文法学部本館改修機械設備工事（Ⅱ期）追加に伴う立会調査（0946）

＜調査期間＞

2010年２月８日

＜調査対象面積＞

7.2㎡

＜調査員＞

小畑弘己.

＜調査概要・結果＞

消火管の水道管の付け替えに伴う工事であり，掘削深度は0.7mであった．掘削部分は旧配水管や雨水管などの設置のための掘削により攪乱を受けている部分がほとんどであったが，北側部分の深さ0.6mで安定した土層を確認した．粘性が強い明褐色土層であり，近代～近世の堆積物と思われた．工事を慎重に進めるよう指導した．

16. （黒髪北）教育学部東教室既設駐輪場撤去・新設他工事に伴う立会調査（0948）

＜調査期間＞

2010年２月15日

＜調査対象面積＞

45㎡

＜調査員＞

小畑弘己.

＜調査概要・結果＞

駐輪場の基礎コンクリート（厚さ0.2m）を撤去し，地表下0.65mまで掘削して新たな基礎を作る工事である．掘削深度までは，まだ埋土内であり，遺構・遺物ともに確認できなかった．

写真43　掘削地遠景（南より）

写真44　掘削部北部掘削後状況（西より）

写真45　掘削風景（北より）

写真46　掘削後のようす（北より）

17.（黒髪北）教育学部本館B棟配水管・連結送水管工事に伴う立会調査（0959）

＜調査期間＞

2010年3月4日

＜調査対象面積＞

2㎡

＜調査員＞

小畑弘己.

＜調査概要・結果＞

建物に沿って，幅0.5m，深さ0.4mの掘削を行うものであり，南北両地点とも建物基礎の掘削部内に相当する位置にあり，すでに攪乱されていることが予想された．掘削の結果，予想通り攪乱土のみが認められ，遺構・遺物ともに確認できなかった．

18.（黒髪北）体育館改修電気設備工事（電柱撤去）に伴う立会調査（0964）

＜調査期間＞

2010年3月11日

＜調査対象面積＞

1.2㎡

＜調査員＞

大坪志子.

＜調査概要・結果＞

電線の地中化に伴い，電柱を撤去する工事である．電柱の根元にある地中梁までを掘削し，引き抜く工事である．北から番号を付し，それぞれ①地点では0.4m，③地点では0.7mまで電柱の根元周囲を掘削した．③地点では実際に引き抜きまで立ち会ったが，文化財に影響なかった．出土遺物・遺構はない．

写真47　南側調査地点遠景（東より）

写真48　南側調査地点建物横掘削部（南より）

写真49　作業風景（東より）

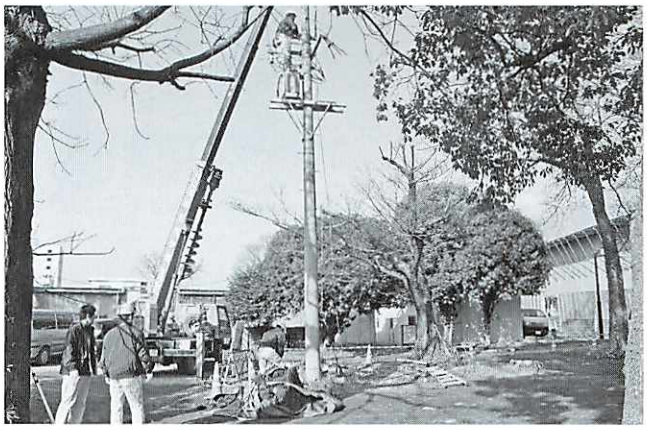


写真50　①地点掘削状況（西より）

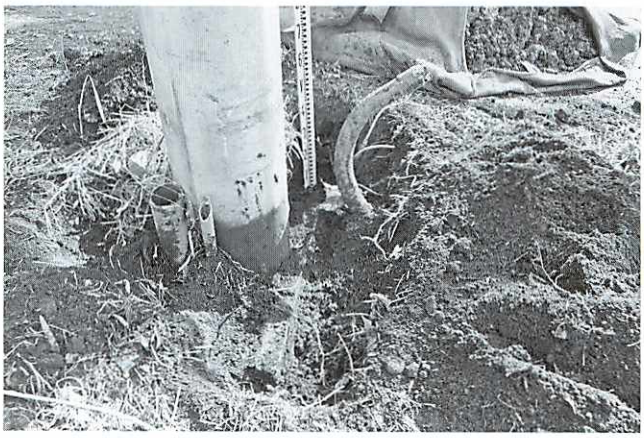


写真51　③地点掘削状況（南より）

19.（黒髪北）文法学部本館駐輪場撤去工事に伴う立会調査（0965）

＜調査期間＞

2010年３月11日

＜調査対象面積＞

114.73㎡（内0.48㎡）

＜調査員＞

大坪志子.

＜調査概要・結果＞

駐輪場を撤去する工事である．コンクリート基礎は破砕し，上屋の基礎の撤去に立ち会った．基礎は，コンクリート基礎の下の砕石中に埋設されており，重機で転がすように撤去できた．埋土内であり，遺構・遺物の検出はない．樹木移植は行っていない．

写真52　作業風景（南西より）

写真53　抜き取り後の様子（南西より）

20.（黒髪北）保健センター前屋外消火栓取替工事に伴う立会調査（0966）

＜調査期間＞

2010年３月12日

＜調査対象面積＞

0.8㎡

＜調査員＞

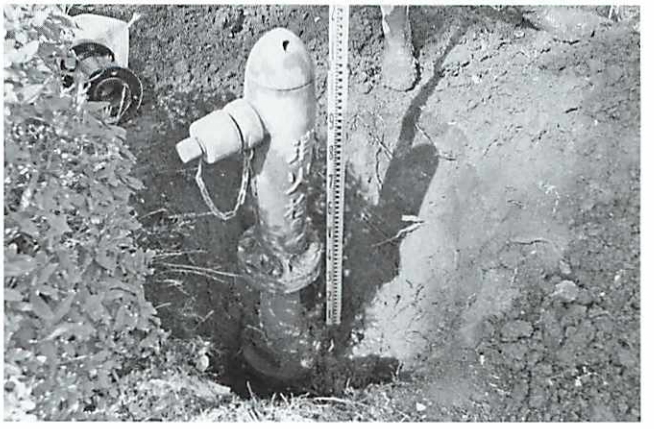
大坪志子.

＜調査概要・結果＞

保健センター前の緑地帯にある消火栓に漏水があるため，取替え工事を行った．既存の消火栓の周囲を0.8×1.0mの範囲で，地表下0.8mまで掘削したが，掘り方内である．遺構・遺物の検出はない．

写真54　作業風景（北東より）

写真55　掘削状況（東より）



21.（黒髪北）共用棟黒髪６揚水設備撤去他給水設備改修工事に伴う立会調査（0968）

＜調査期間＞

2010年３月16日

＜調査対象面積＞

17.08㎡（3.76㎡）

＜調査員＞

大坪志子.

＜調査概要・結果＞

共用棟黒髪６の受水槽を撤去し，給水管を繋ぎ直す工事である．既設の給水管を探し，繋ぎ直すルートを掘削した．一部において地表下0.6m前後で包含層を確認したが，遺構・遺物の検出はなかった．接続部分は0.8mまで掘削したが，埋土内であり文化財への影響はないと判断した．

水槽の基礎部を掘削したところ，深さは0.6m程度であり，破砕して除去する撤去法をとるため掘り方内に収まる．慎重に作業するよう指示した．

写真56　作業風景（北より）

写真57　掘削全景（南より）

22.（黒髪北）文法学部古紙倉庫設置工事に伴う立会調査（0971）

＜調査期間＞

2010年３月23日

＜調査対象面積＞

47.8㎡（内1.8㎡）

＜調査員＞

大坪志子.

＜調査概要・結果＞

既設の倉庫を解体・撤去し，新たに古紙倉庫を設置する工事である．既設倉庫の基礎は，破砕して除去し，新しく造る倉庫の基礎部を掘削した．２箇所において1.0×0.9mの範囲で0.5mの深さまで掘削したが，埋土内であり遺構・遺物の検出はなかった．

写真58　作業風景（西より）

写真59　掘削状況（北より）

Ⅱ－2　黒髪南地区　（図4・5参照）

1．（黒髪南）西門改修植栽移植工事に伴う立会調査（0901）

＜調査期間＞

2009年４月15日・17日

＜調査対象面積＞

18㎡

＜調査員＞

小畑弘己.

＜調査概要・結果＞

西門改修工事箇所に存在するイチョウの木の移植に伴う立会工事であり，まず移植先の掘削工事に立ち会った．現地は駐車場の緑地部分にあたり，芝貼状態である．地表下1.65ｍの深さまで掘削したが，すでに攪乱を受けており，遺構・遺物ともに発見されなかった．移植元の工事は根の部分を直径２ｍほど残して，周囲をおよそ１ｍ幅で円形に掘削するもので，地表下1.8ｍほど掘削したが，すべて硬い埋土であった．遺構・遺物ともに検出していない．

写真60　移植先遠景（北より）

写真61　移植先掘削状況（西より）

写真62　移植元掘削状況（西より）

写真63　掘削後（南より）

2．（黒髪南）西門改修工事に伴う立会調査（0902）

＜調査期間＞

2009年４月20日～５月28日

＜調査対象面積＞

422㎡

＜調査員＞

小畑弘己.

＜調査概要・結果＞

工事は，工事区内の１．外灯撤去，２．門柱・マンホール撤去，３．石垣・表層コンクリート撤去，４．門扉・塀新設，５．車止め・暗渠新設に分けて実施され，そのつど工事立会を実施した．

１～３に関しては，工事区内が旧運動場面まで掘削を受けているため，工事区前面の県道の歩道部分から深さ0.4ｍほどまではすべて埋土であったため，遺構・遺物ともに検出していない．しかし，４の工事に関しては，一部においてそれ以上の深さの掘削が行われた．東側門扉部と東側石垣部に関してはほぼ既存削平深度までしか掘削が及ばないため，東側門扉部において黒褐色の住居址らしき遺構を検出したが，そのまま保存している．西側の門扉部の掘削は西側の大学境界の道路面より，深さ

図４　黒髪南地区における調査地点配置図（1/2000）

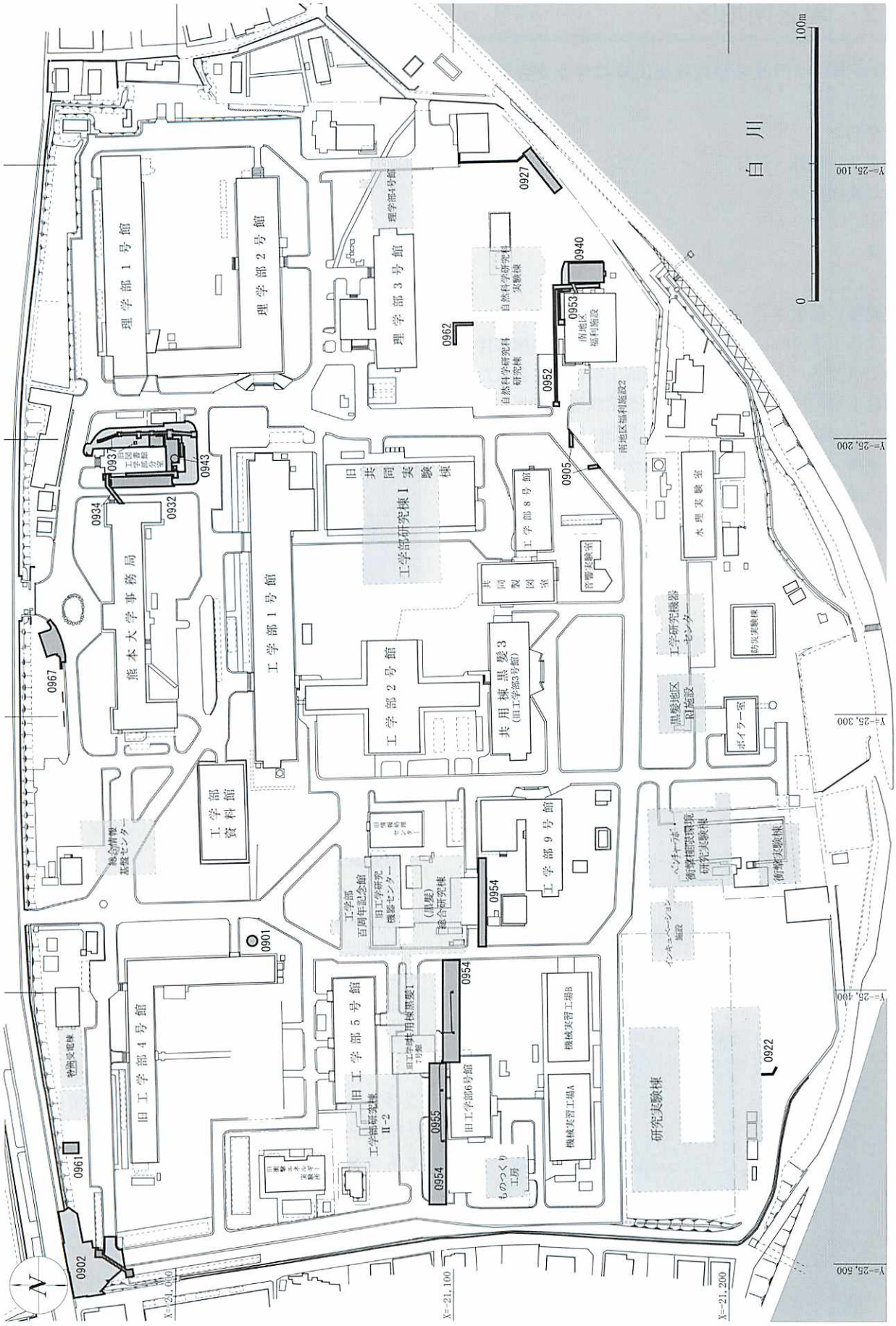
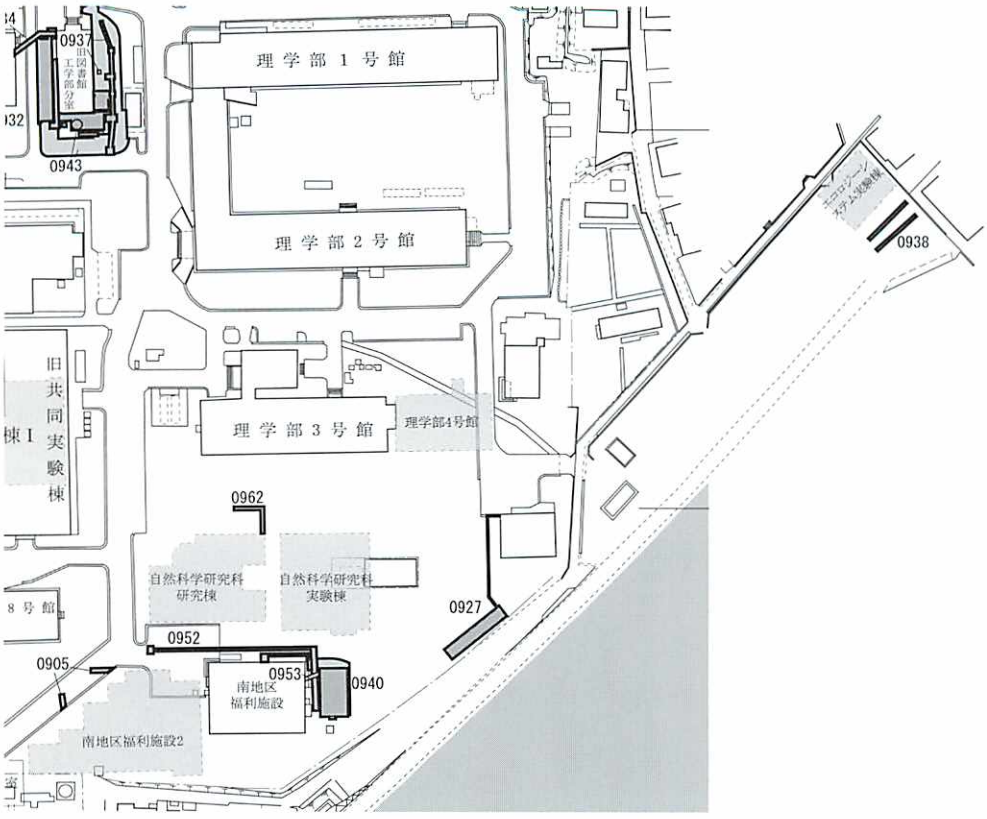


図５　黒髪南地区（東部）における調査地点配置図（1/2000）



0.4mほどで黄褐色の地山面を検出したが，範囲内において遺構は発見できなかった．

外灯付設部分は門柱基礎部の掘削で取り込まれる範囲であり，先の立会の際，やや色調は薄いものの，遺構らしきプランを把握していた部分である．掘削の結果，この遺構らしきプランは攪乱（ゴミ穴？）であり，この部分がすでに破壊を受けていることが判明した．

北側道路に連接する暗渠用排水管工事の掘削深度は道路面より0.65mであり，掘削に伴い立会調査を実施したが，遺構・遺物ともに確認できなかった．車止めに関しては，掘削深度が0.45mと浅いこと，周辺での立会状況からみて，遺構の存在する可能性は少ないことから慎重に工事を進めるよう指導した．

写真64　外灯移植工事区遠景（南より）

旧運動場面は周辺道路より0.4mほどの深さに相当し，この硬化面の下には遺構が存在しており，今後の周辺道路での工事には文化財保護のための慎重な対応が求められる．

写真65　外灯基礎部掘削状況（東より）

写真66　新門柱基礎掘削風景（北西より）

写真67　門柱基礎部掘削後と北側道路（南より）

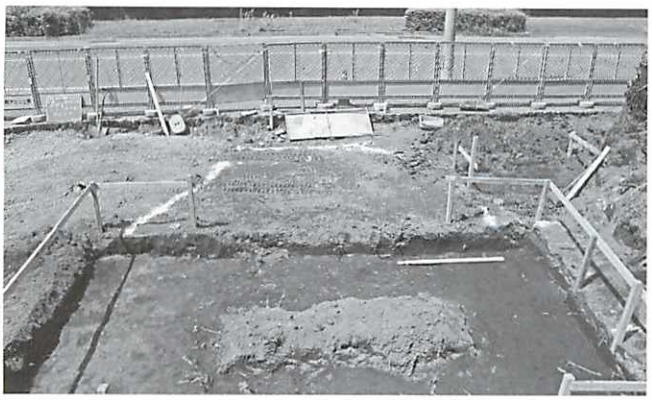


写真68　門開閉部基礎掘削後（北より）

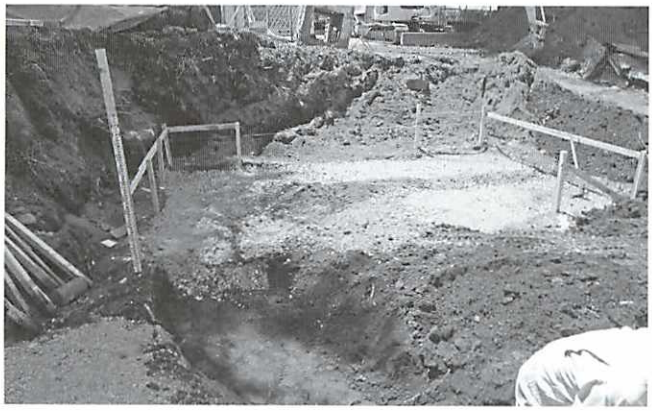


写真69　西側道路境界部基礎掘削後（北より）

写真70　外灯基礎部工事風景（西より）

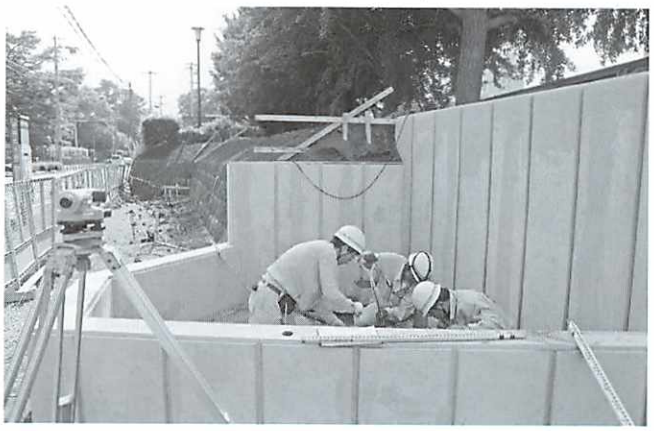
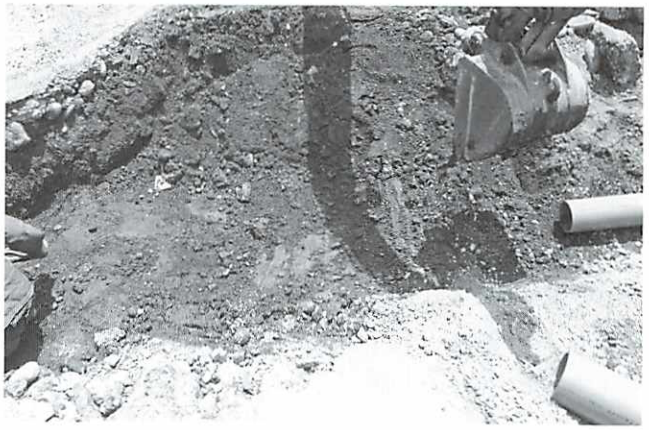


写真71　外灯基礎部掘削状況（西より）

写真72　暗渠用埋設管掘削風景（西より）

写真73　暗渠用埋設管掘削部（西より）



3．（黒髪南）屋外雨水管改修工事に伴う立会調査（0905）

＜調査期間＞

2009年５月８日

＜調査対象面積＞

5.8㎡

＜調査員＞

大坪志子.

＜調査概要・結果＞

南地区生協前の２箇所の雨水枡について，既設の汚水枡に配管を通す工事である．

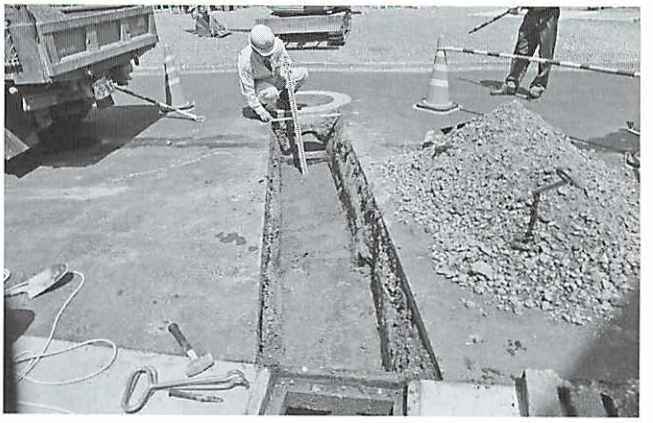
それぞれ幅0.68m，深さ0.5mの掘削を行った．この深さまでは山砂と現代埋土であり，包含層や遺構面に達することは無かった．遺物の出土もない．

写真74　①地点作業風景（東より）

写真75　①地点掘削状況（東より）

写真76　②地点作業風景（北東より）

写真77　②地点掘削状況（南より）



4．（黒髪南）工学部研究実験棟準備室Ａ種接地工事に伴う立会調査（0922）

＜調査期間＞

2009年10月６日

＜調査対象面積＞

3.6㎡

＜調査員＞

大坪志子．

＜調査概要・結果＞

工学部研究実験棟準備室南側から，熊本県地域結集型研究開発プログラム　コア研究室西側に配管・接地棒打ち込みをするものである．

工学部研究実験棟準備室南側の道路横断部は，地表下0.4m程度を掘削したが，埋土内である．道路横断部の延長上の緑地帯で1.0m掘削したが，混入物の多い肌色の土層で現代埋土と思われる．更に南東へ1.7mの地点で1.1～1.2m掘削したが，下方は灰のような軟らかく細かな土の層で，ガラス片が混入しておりやはり現代埋土である．遺構・遺物はない．

写真78　作業風景（西より）

写真79　道路横断部掘削状況（北より）

写真80　接地棒２地点掘削状況（西より）

5．（黒髪南）ゴミ集積場取設工事に伴う立会調査（0927）

＜調査期間＞

2009年10月20日

＜調査対象面積＞

75.1㎡（内9.19㎡）

＜調査員＞

大坪志子．

＜調査概要・結果＞

黒髪南地区の南東隅にゴミ集積場を設置し，給水施設を併設する工事である．

給水管は，ヘリウム等北西部にある給水バルブから分岐させ，建物の西側を南に掘削した．分岐部のみ0.75m掘削，他の管路は0.35前後を掘削したが，埋土内であり遺構の検出は無かった．分岐部分では，攪乱内から土師器の小片が１点のみ出土した．

集積場は，東西端に2箇所のトレンチを設定して試掘を行った．0.25～0.3mの掘削で，現代埋土内であり，遺構・遺物の検出はなかった．

写真81　給水管部作業風景（南より）

写真82　給水管部掘削状況（南より）

写真83　トレンチ①掘削状況（東より）

6．（黒髪南）旧図書館工学部分室他改修工事に伴う立会・発掘調査（0932）

＜調査期間＞

2009年11月10日・30日～12月３日・14日

＜調査対象面積＞

地中梁試掘・地下ピット試掘　0.98㎡

外溝工事立会　230.7㎡

＜調査員＞

大坪志子・小畑弘己．

＜調査概要・結果＞

建物内の地中梁の構造観察のため，２箇所において0.6×0.3mで梁の脇を掘削した．掘り方内であり，遺構・遺物の出土はない．地中梁については，当初予定していた掘削の必要がなくなったため，これ以上の掘削はない．

建物内部の地下ピット建設予定箇所において，試掘を行った．この結果，建物内の地表から約0.8mの深さで，古代の遺物包含層と思われる黒色土を確認した．検出レベルは，建物周囲のアスファルトから８cm程度下である．

熊本市文化課に連絡し，引き続き発掘調査へ移行することとなる．施設部と協議の上，条件整備が整う11月30日より発掘調査を開始することとした．

発掘調査の結果，古代の溝１条を検出した．

周辺の階段・ゴミ置き場の撤去につき立会調査を実施した．階段部分は，基礎石は地表下0.3mの深さであり，撤去には支障はなかった．ゴミ置き場は基礎鉄筋入りコンクリートが厚さ0.6mほどあり，地表下0.5mほどまで削平されていた．慎重に撤去するように指示した．遺構・遺物は検出できなかった．

写真84　南側階段撤去後（南より）

写真85　ゴミ置き場掘削後（西より）

写真86　古代溝検出状況（東より）

7．（黒髪南）旧図書館工学部分室他改修電気設備工事に伴う立会調査（0934）

＜調査期間＞

2009年12月９日

＜調査対象面積＞

14.64㎡

＜調査員＞

小畑弘己・大坪志子．

＜調査概要・結果＞

幅１mほどで本部から旧図書館へ電線を引く工事である．本部側は道路縁石部分まで，本部建物の犬走，埋設管などで攪乱を受けていた．道路部分は中央に電気埋設の幅１mほどの掘削部（調査番号9906）があり，すでに破壊を受けていたが，その両側の部分は地表下0.3mほどで旧地表面（地山）が現れた．しかし，包含層部分が削平されており，遺物はなにも出土しなかった．またこの区間では遺構も確認できなかった．道路東側部分の北側には，旧レンガ建物の基礎が東西方向に走っており，旧図書館周囲の芝土部分に繋がっていることが判明した．おそらく北方向へ方向を変える部分に相当するものと思われる．このレンガ建物基礎と旧図書館階段部分の間も地表下0.3mほどで旧地山面（地山）を確認したが，遺構・遺物ともに確認できなかった．

写真87　調査区遠景（北より）

写真88　旧図書館側地山（西より）

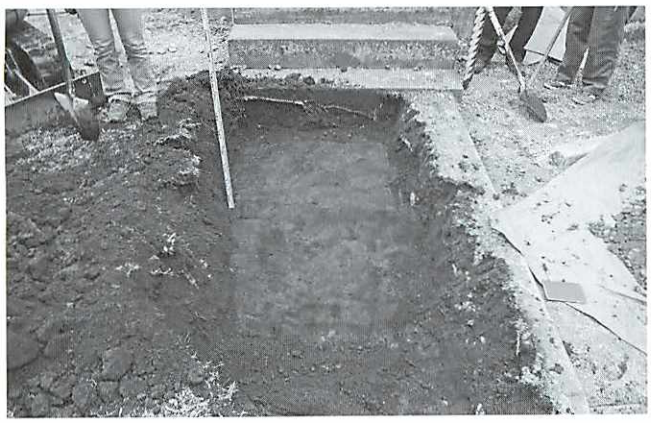


写真89　赤レンガ建物基礎（東より）

8．（黒髪南）旧図書館工学部分室他改修機械設備工事に伴う立会調査（0937）

＜調査期間＞

2010年１月13日・２月23日

＜調査対象面積＞

56㎡

＜調査員＞

小畑弘己．

＜調査概要・結果＞

第１回目の立会調査は，東側の排水管設置に伴う工事であった．本体部の立会調査で遺物包含層が遺存していることが判明し，本地点でも掘削深度が地表下1.9mに達するため遺物包含層が検出されることが予想された．しかし，掘削部分のすぐ隣は既存の排水管が埋設されており，予想どおり，掘削部分はかなりの破壊を受けていた．かろうじて未攪乱の土層部分の観察によると，地表下0.6mで遺物包含層相当層である暗褐色土層があり，地山層は0.8mで検出された．しかし，掘削部にコンクリート桝状の構造部が残存していたり，埋設管の攪乱が著しく，遺物・遺構ともに確認できなかった（写真91～92）．

第２回目の立会調査は，建物南西隅の電気付設工事に伴うものである．旧建物犬走り下を0.5mほど掘り下げたところ，0.4mで黄褐色の地山面が現れたため，これ以上掘り下げないよう指導した（写真93）．

写真90　配水管配管部掘削風景（北より）

写真91　人孔部分掘削後（北西より）

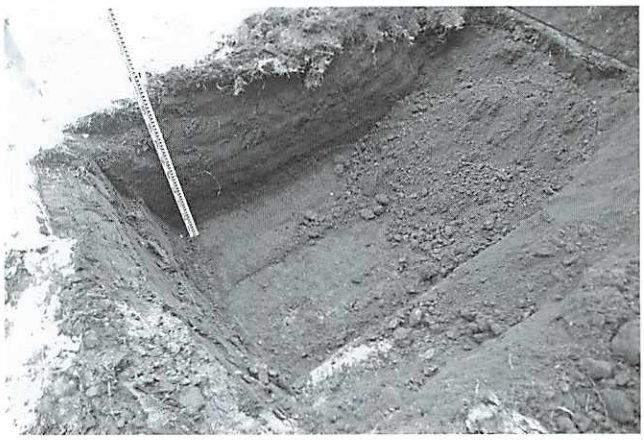


写真92　南部配管部分掘削後（北より）

写真93　電気埋設工事立会現場（南西より）

写真94　掘削後状況（南より）

9.（黒髪南）エコロジーシステム実験室接地工事に伴う立会・発掘調査（0938）

＜調査期間＞

2010年１月14日・２月17日～19日

＜調査対象面積＞

10㎡

＜調査員＞

小畑弘己.

＜調査概要・結果＞

南北に平行する配線部分は地表下1.0m掘削予定であり，そこからプレハブに繋がる部分は地表下0.35mであるので，深い南北部分について掘削に立ち会った．その結果，地表下0.5～0.6mで暗褐色の遺物包含層が現れ，その中から縄文土器数片が出土した．また，北側配線部の東端では幅１mほどで断面形がＶ字形の黒褐色土を含む溝状遺構が検出されたため，掘削を中止し，発掘調査が必要であると判断し，関連部局と発掘調査にむけて協議を開始した．

発掘調査は2010年２月17～19日で実施することとした．

調査の結果，北側配線部の東端の断面Ｖ字形の溝は幅１mほどで，南側配線部まで延びていることが確認できた．南側配線部ではこれにほぼ直行するような幅0.8mほどの断面形Ｕ字形の浅い溝が確認できた．これらを検出後，これらが切り込む黄褐色土を掘り下げ，縄文土器およそ120点を検出した．

縄文土器のほとんどは胴部～底部までの破片で，紋様をもつ口縁部付近の破片は10点にも満たないものである．口縁部破片は，御手洗Ａ式，小池原下層式，鐘崎式の特徴をもつことから，これらの土器群は後期前葉に属するものと思われる．鐘崎式土器の口縁破片は丹塗りが施されている．

写真95　掘削風景（西より）

写真96　北側配線部分（西より）

写真97　北側配線部分検出溝（東南より）

10.（黒髪南）生物生息環境音響解析室新営工事に伴う立会調査（0940）

＜調査期間＞

2010年１月26日

＜調査対象面積＞

１㎡

＜調査員＞

小畑弘己.

＜調査概要・結果＞

工事はプレハブ布基礎のため幅１ｍ，長さ35ｍほど，深さ0.5ｍ掘削するもので，それ以外の部分はそれより浅い掘削深度となる．このため，布基礎の南東部と北東部に長さ１ｍ，幅0.5ｍのトレンチを入れ，土層の状態を確認した．その結果，南東部はバラスの埋土が厚く堆積しており，旧地表部の掘削は0.1ｍほどであった．また，北東部のトレンチでは，地表下0.4ｍほどで昭和28年の白川洪水の際の洪水砂が現れ，0.5ｍまで下げても，同層内であり，遺物包含層および遺構面相当層までは達しなかった．

11.（黒髪南）旧図書館工学部分室外構工事に伴う立会調査（0943）

＜調査期間＞

2010年２月２日

＜調査対象面積＞

７㎡

＜調査員＞

小畑弘己.

＜調査概要・結果＞

浄化槽撤去部分は地表下2.5ｍほどの掘削で，本工事で最も深い部分であるため，この部分をまず立会調査した．建設時の掘り山を掘削し，内部の浄化槽本体部のみを撤去した．その際，北壁に幅1ｍ，深さ0.8ｍあまりの黒色土で充填されたＶ字形の遺構（溝と思われる）を検出した．しかし，およそ2ｍ離れた南壁では検出していない．この部分は掘削対象外であるため，写真を撮ってそのまま埋め戻した．雨水管部分は掘削深度が地表下0.7ｍであるが，掘削の結果，削平は受けているものの，地山面が0.7ｍで現れることから，掘削深度を0.65ｍとして慎重に工事を進めるよう指導した．

写真98　調査風景（北から）

写真99　北東トレンチ掘削後（西より）

写真100　浄化槽部分掘削風景遠景（南より）

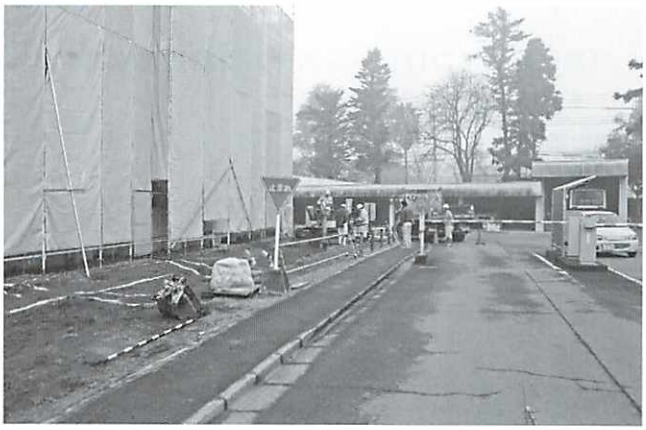


写真101　浄化槽撤去部分検出のＶ字溝（東より）

写真102　雨水管部分掘削風景（東より）

写真103　雨水管部分土層（北より）

12.（黒髪南）生物生息環境音響解析室新営機械設備工事に伴う立会調査（0952）

＜調査期間＞

2010年２月22日

＜調査対象面積＞

1.5㎡

＜調査員＞

小畑弘己.

＜調査概要・結果＞

共同溝との付設部分が最も深く掘る部分であるため，この部分で土層の観察を行った．共同溝の東側は１ｍほど攪乱されていたが，それより東側の部分は，地表下0.35ｍ～0.5ｍが茶褐色の近代・近世耕作土と思われる層，その下部0.7ｍまでが黒褐色の古代遺物包含層相当層が残存していることが判明した．よって，掘削深度を0.5ｍとし，それ以上の掘削がないよう担当者と協議し，慎重に工事を進めるよう指導した．遺構・遺物とも検出していない．

写真104　掘削風景（西より）

写真105　掘削部土層（南より）

13.（黒髪南）生物生息環境音響解析室新営電気設備工事に伴う立会調査（0953）

＜調査期間＞

2010年２月22日

＜調査対象面積＞

１㎡

＜調査員＞

小畑弘己.

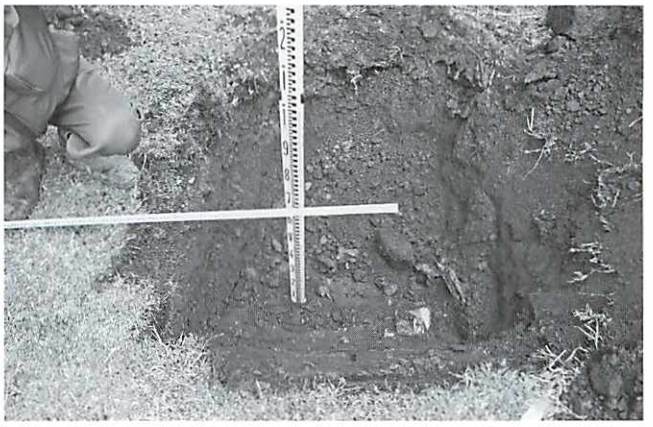
＜調査概要・結果＞

地表下0.45ｍまでの掘削であり，この深さは旧表土のバラス層が堆積しており，すでに攪乱を受けていた．よって，遺構・遺物ともに検出していない．

写真106　掘削風景（北より）

写真107　掘削部（北東より）

写真109　A 工区移植部掘削後（南から）



14.（黒髪南）環境整備（駐輪場等）工事に伴う立会調査（0954）

＜調査期間＞

2010年３月１日

＜調査対象面積＞

２㎡

＜調査員＞

小畑弘己.

＜調査概要・結果＞

今回の工事が行われる地点は，工学部旧運動場に相当し，地表下1.5mまでは現代の埋土が存在することが予想された．よって，もっとも深く掘削する樹木の移植部分２箇所を代表として立会調査した．地表下0.6mほどの掘削であり，結果はすべて現代の埋土であった．よって，他の部分についても文化財破壊の恐れはないため，慎重に工事を進めるよう指導した．遺構・遺物ともに検出していない．

15.（黒髪南）環境整備駐輪場外灯設備工事に伴う立会調査（0955）

＜調査期間＞

2010年３月１日

＜調査対象面積＞

２㎡

＜調査員＞

小畑弘己.

＜調査概要・結果＞

本工事は0954調査地点と一連の工事であり，本地点も同様に工学部旧運動場内に含まれる．最も深く掘削する東西端の２箇所の外灯基礎部分の掘削に立会った．地表下1.4mほどの掘削であり，結果はすべて現代の埋土であった．よって，他の部分についても文化財破壊の恐れはないため，慎重に工事を進めるよう指導した．遺構・遺物ともに検出していない．

写真108　樹木移植部掘削風景（東より）

写真110　東端外灯掘削風景（西より）

写真111　東端外灯掘削後（南より）

写真113　掘削状況（東より）

16.（黒髪南）備蓄倉庫２取設工事に伴う立会調査（0961）

＜調査期間＞

2010年３月８日

＜調査対象面積＞

19㎡（0.83㎡）

＜調査員＞

大坪志子.

＜調査概要・結果＞

特高受電設備の西側に，簡易倉庫を立てる工事である．特高受電建設の際の発掘調査で，付近は地表下２ｍまで削平されていることが判明している．本調査地点も，そうした状況から文化財に達することはないと思われた．基礎部で最も深くなる箇所を0.55×1.5ｍの範囲で掘削した．工事に必要な深さは0.35ｍである．埋土内であり，遺構・遺物の検出はない．施工OKとした．

17.（黒髪南）大学院自然科学研究科実験棟地圏探査工学実験室改修電気設備工事に伴う立会調査（0962）

＜調査期間＞

2010年３月８日

＜調査対象面積＞

7.5㎡（0.7㎡）

＜調査員＞

大坪志子.

＜調査概要・結果＞

大学院自然科学研究科実験棟の北側に，接地工事を行うものである．当初は，建物北側にＬ字に掘削する設計であったが，利用する予定の既設の電気線が途中から西側へ斜めに埋設されており，設計どおりには工事ができない状況であった．このため掘削場所の変更を熊本市教育委員会に連絡し，変更の許諾を得て掘削を行った．掘削予定範囲の９割程度において，コンクリート基礎があり，0.4ｍ程度しか掘削できなかった．西端から2.3ｍの範囲では，予定通り0.6ｍまで掘削したが二本の既設管により既に掘削されていた．

今回の掘削範囲はすべて攪乱であり，遺構・遺物の検出はない．

写真112　作業風景（南より）

写真114　作業風景（東より）

写真115　掘削全景（西より）

写真116　西端部掘削土層状況（北より）

18.（黒髪南）事務局来客用駐車場取設工事に伴う立会調査（0967）

＜調査期間＞

2010年３月15日

＜調査対象面積＞

90.8㎡（内2.34㎡）

＜調査員＞

大坪志子.

＜調査概要・結果＞

南地区正門西側に，駐車場を造る工事である．予定地内にある低木を移植し，舗装のためのすきとりを行った．低木は深さ0.4mまでの掘削で，抜き取りが行え，移植先も0.4mの掘削で移植可能であることを確認した．いずれも埋土内である．駐車場は予定地の北西隅を2.2×0.7の範囲で，0.3mのすきとりを行った．埋土内である．遺構・遺物の検出はない．

なお，予定地内にあるポールについては，申請書に撤去の記述が無かったため，熊本市文化財課に連絡し，撤去を行った．

写真117　樹木抜取り作業風景（南より）

写真118　樹木抜取り掘削状況（南より）

写真119　樹木移植先①地点掘削状況（南より）

写真120　駐車場掘削状況（南より）

Ⅱ－3　黒髪東地区　（図3参照）

1．黒髪団地（東地区）インフラ整備に伴う立会調査（0912）

＜調査期間＞

2009年７月６日

＜調査対象面積＞

403.5㎡（内1.2㎡）

＜調査員＞

大坪志子.

＜調査概要・結果＞

黒髪団地東地区の給水管整備工事による立会調査を実施した．今回予定している給水管整備工事は，敷地内に広くめぐらされた配管の大半に及ぶが，各地点でこれまでに漏水による緊急工事を実施し，その際の立会調査で地下の状況が把握されている．このため，今回は敷地内奥（北側）の箇所について試掘を行った．

すずかけの家東側の①地点では，1.2×0.5m の範囲を深さ0.6mまで掘削したが埋土内であり，遺構・遺物の検出はなかった．

②地点でも1.0×0.6mの範囲を掘削したが，①地点と同様の結果である．この深さによる掘削では文化財に影響はないと判断される．

写真121　①地点作業風景（北より）

写真122　①地点掘削状況（南より）

2．（黒髪東）特別支援学校屋外給水管漏水修理に伴う立会調査（0913）

＜調査期間＞

2009年７月８日

＜調査対象面積＞

1.8㎡

＜調査員＞

大坪志子.

＜調査概要・結果＞

水道管の破損による水漏れが発生したため，熊本市教育委員の許可を得て，立会のもと修理工事を行った．

東教室Ａ棟の玄関の階段東において，1.3×0.6mの範囲を掘削した．この地点は昨年度にも，漏水のため掘削を行っている．地表下0.5mまで掘削したが埋土内であり，遺構・遺物の検出はなかった．

写真123　東教室玄関横　作業風景（北東より）

写真124　掘削状況（東より）

3．（黒髪北）教育学部東教室外構工事に伴う立会調査（0949）

＜調査期間＞

2010年２月15日

＜調査対象面積＞

0.5㎡

＜調査員＞

小畑弘己.

＜調査概要・結果＞

フェンス基礎撤去の際，土層を観察したが，地表下0.5mでは埋土の範囲内であり，遺構・遺物ともに検出していない.

写真125　フェンス基礎撤去風景（西より）

写真126　フェンス基礎撤去後（西より）

4．（黒髪北）教育学部東教室耐震改修機械設備工事に伴う立会調査（0950）

＜調査期間＞

2010年２月15日

＜調査対象面積＞

4㎡

＜調査員＞

小畑弘己.

＜調査概要・結果＞

既設マンホールに排水管を繋ぐ工事であり，もっとも深くまで掘り下げる南西端の工区の掘削に立ち会った．掘削部分は建物基礎や既存マンホールや配管などですでに攪乱を受けており，掘削部分は地表下1.6mまですべて攪乱層であった．その他の部分もほぼ同様の状態であり，掘削深度も0.8m以下であるため，慎重に工事を進めるよう指導した．遺構・遺物ともに検出していない.

写真127　掘削風景（南西より）

写真128　掘削後（南より）

5．（黒髪北）教育学部東教室耐震改修電気設備工事に伴う立会調査（0951）

＜調査期間＞

2010年２月15日

＜調査対象面積＞

0.5㎡

＜調査員＞

小畑弘己.

＜調査概要・結果＞

掘削深度は0.5mであり，しかも建物基礎の掘り方の範囲内である．掘削部分は埋土内であり，遺構・遺物ともに検出していない.

写真129　掘削風景（西より）

写真130　掘削後（西より）

写真131　調査区遠景（南より）

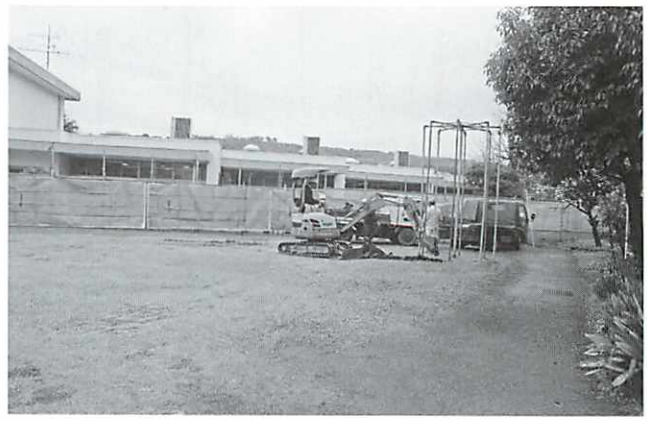
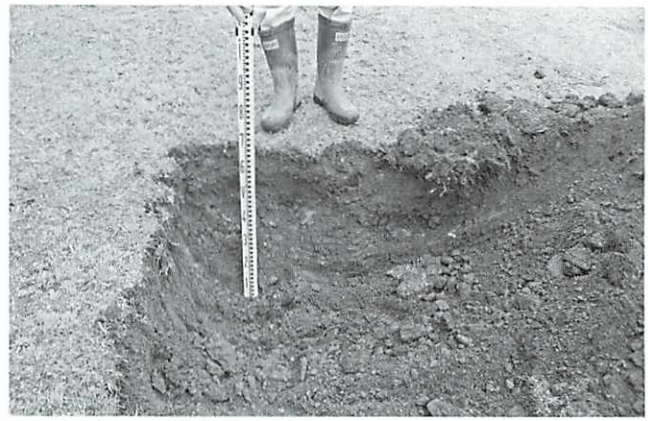


写真132　ブランコ基礎掘削後（北より）



6．（黒髪東）教育学部附属特別支援学校小学部遊具設置工事に伴う立会調査（0958）

＜調査期間＞

2010年３月４日

＜調査対象面積＞

２㎡

＜調査員＞

小畑弘己.

＜調査概要・結果＞

遊具の撤去部分は引き抜き工事であり，土層の観察が不可能であるので，新設遊具の基礎掘削に立ち会った．その結果，もっとも深いブランコの基礎掘削部（地表下0.6m）でも埋め土であり，遺構・遺物ともに確認できなかった．地形を観察するとこの部分は盛土であることがわかる．他の遊具の基礎も浅く，問題はないと判断し，慎重に工事を進めるよう指導した．遺構・遺物なし．

7．（黒髪東）ソフトテニスコート給水工事に伴う立会調査（0969）

＜調査期間＞

2010年３月19日

＜調査対象面積＞

28.18㎡（内0.24㎡）

＜調査員＞

大坪志子.

＜調査概要・結果＞

ソフトテニスコートの仮設給水管を仮埋設する工事である．2箇所において試掘を行った．0.3×0.4mの範囲を地表下0.3mまで掘削したが，埋土内であり遺構・遺物の検出はない．

写真133　②地点作業風景（西より）

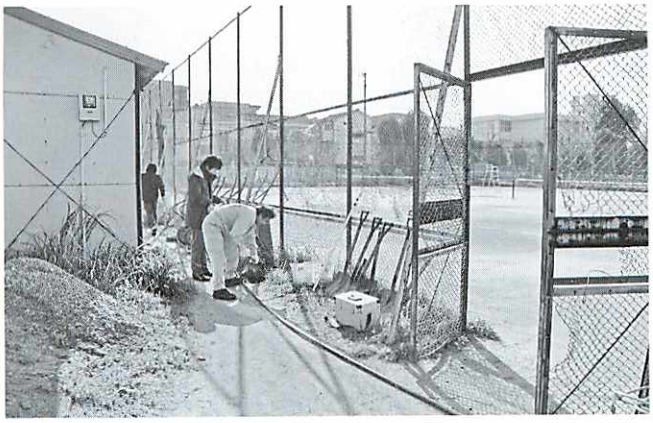


写真134　②地点掘削状況（西より）

Ⅱ－4　本荘北地区　（図6参照）

1．（医病）基幹整備（電話交換設備更新）工事その1（変更）に伴う立会調査（0907）

＜調査期間＞

2009年5月28日

＜調査対象面積＞

179.2㎡（内11.48㎡）

＜調査員＞

大坪志子.

＜調査概要・結果＞

電話交換設備更新のため，電線を敷設する工事である．旧電話交換室東側に，駐車場南から臨床研究棟の南西のハンドホールまでの配線である．既往の調査結果から，掘削深度が文化層上面程度と考えられたため，3箇所で試掘を実施した．

駐車場緑地帯の①地点では，2.3×2.1mの範囲を地表下1.2mまで掘削したが，埋土内であった．

臨床研究棟南西の②地点では，2.2×2.4mの範囲を地表下1.3mまで掘削したが，埋土内であった．

駐車場内の③地点では，1.65×1.0mの範囲を地表下1.3mまで掘削したが，ここも埋土内であった．①地点では，排水管・高圧ケーブル・低圧ケーブルが検出されたが，これらの回避は範囲内で調整し，深く掘削しないことを指示・確認した．

写真135　①地点掘削状況（東より）

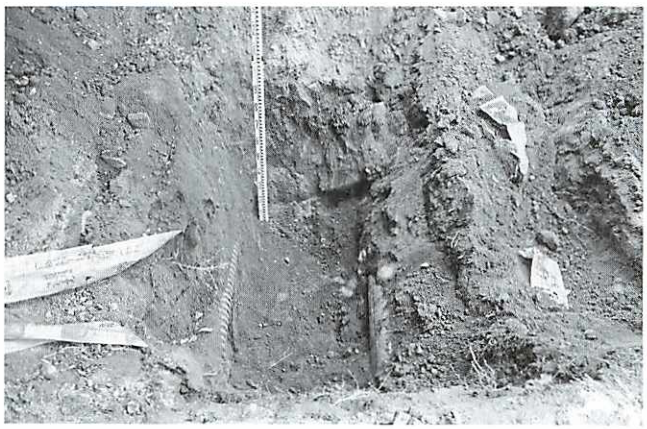


図６　本荘北地区における調査地点配置図（1/2000）

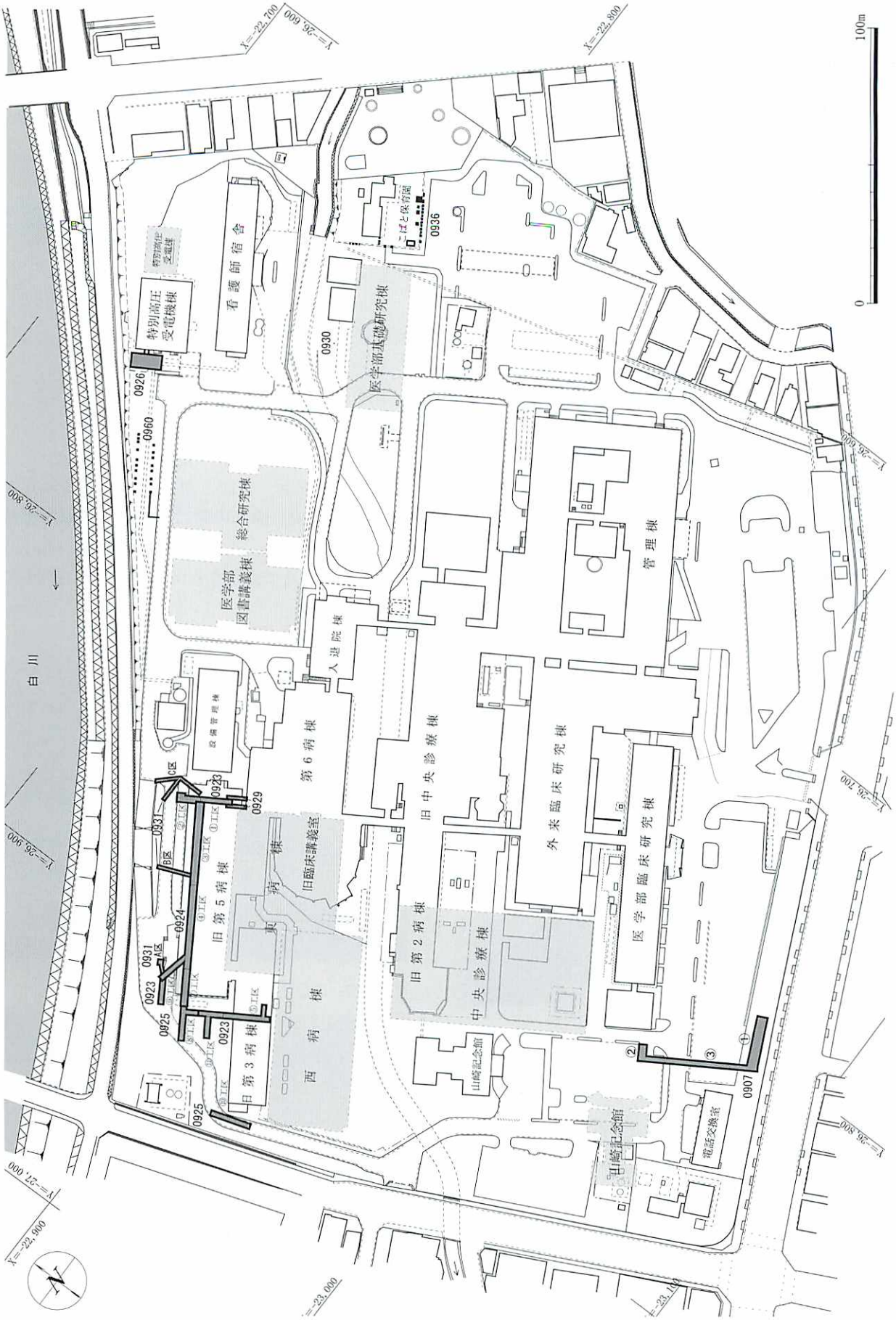


写真136　②地点作業風景（南西より）

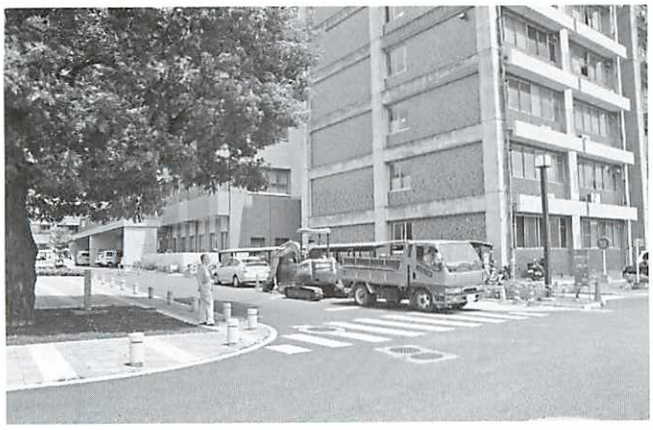


写真137　②地点掘削状況（東より）

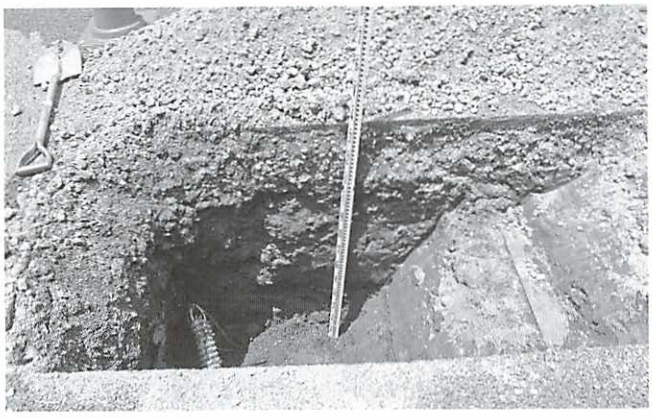


写真138　③地点掘削状況（北より）

2．（医病）東病棟新営機械設備（衛生）工事（変更）に伴う立会・発掘調査（0923）

＜調査期間＞

工区①　2009年10月13日

工区⑨　2009年10月27～30日

工区⑤・⑥（一部）平成21年11月12日～13日

工区⑪　2009年11月18日

＜調査対象面積＞

工区①　30㎡（実際は0㎡）

工区⑨　15.9㎡（0924・0925の工区⑨を含む）

工区⑤・⑥一部　50㎡

工区⑪　5.3㎡

＜調査員＞

工区①　小畑弘己.

工区⑤⑥⑨⑪　大坪志子.

＜調査概要・結果＞

工区①

現地にて立会，確認したところ，すでに共同溝部分（調査番号0104）調査の際に，地表下３ｍまで確認した範囲内に相当する．ここは旧建物の基礎（地下）によって地表下３ｍまで破壊されていることが判明している．

写真139　工区①調査区遠景（北より）

写真140　工区①掘削風景（北東より）

工区⑨

工区⑨のうち，東西ルートの部分である．埋土を撤去した結果，西半分遺構面が残存していることが判明したため，調査に切り替えた．茶色の地山（地山①）上面で一旦精査を行ったが，遺構はなかった．その後，オレンジ色の地山（地山②）まで掘削したが，やはり遺構は検出されなかった．

写真141　⑨工区西側地山②確認状況（西より）

⑤工区・⑥工区一部

⑤工区と⑥工区の一部をあわせて掘削した．病棟のコンクリート擁壁から東西，そして南北にＬ字状に掘削したが，ほぼ以前の建物によって破壊されていた．⑤・⑥工区境目の桝設置予定箇所において，古い桝が検出され，それを撤去すると包含層が若干遺存していたため，そこから北⑤工区終点まで慎重に掘削して精査することとした．その結果，桝設置予定箇所では，2.2×1.8m の範囲の2/3程度に遺構面が残っており，ピット一つを検出した．出土遺物は土師器片が数点である．これより北の箇所では，西側に幅0.2m程度で細長く遺構面が検出されたが，遺構はなかった．桝設置箇所より0.2mほど掘削が浅く，同じレベルまで掘削すれば，遺構面を確認できたかもしれないが，施工には必要のない掘削であるため，現状のままとした．

写真142　ピット検出状況（東より）

写真143　工区⑤掘削状況（北より）

工区⑪

工区⑪には全く同じ位置に既設管が敷設されているが，新しく据える配管が既設のものより0.4m程度深くなる．このため，既設管の掘り方まで掘削して土壌を確認したところ，周囲および下位は包含層が非常に良好な状態で依存していることがわかった．掘削の深さが遺構面まで達するため，調査を行った．包含層を掘り下げると，住居と思われる遺構を検出した．掘削すると，島状に残った硬化した床面と土師器坏と須恵器蓋が出土した．床面には更に２時期に分けられるピットが4個確認できたが，施工に必要な掘削を超えており，現状保存とした．

写真144　7号住居址掘削状況（西より）

写真145　工区⑪掘削状況（西より）

3．（医病）東病棟新営機械設備工事（衛生）追加その２に伴う立会・発掘調査（0924）

＜調査期間＞

工区③　2009年10月19日
工区④　2009年10月23日
工区⑦　2009年10月27日～28日
工区⑨　2009年10月27日～30日

＜調査対象面積＞

工区③　39㎡
工区④　54㎡
工区⑦　25.5㎡
工区⑨　15.9㎡（0923・0925の工区⑨を含む）

＜調査員＞

大坪志子.

＜調査概要・結果＞

工区③

工区①にて設置した枡より東側へ管路を掘削した．北側半分を深さ1.1m 程度，南側半分を1.2～1.3m程度の深さで掘削した．④工区との境に位置する枡設置部分は深さ1.3mまで掘削した．いずれも埋土内であり遺構・遺物の検出はなかった．

写真146　工区③作業風景（北より）

写真147　工区③掘削状況（東より）

工区④

工区③の西側の続きである．工区③東側の起点となる桝から44m付近から西側へ2.3mの間，掘削幅の北側半分に攪乱を受けていない包含層を確認した．工区の掘り底の段差部で確認できた．北半部に残っていたが，北半部は包含層直上までの掘削であったため，現状保存とした．工区④の西端5.7mの区間で，北半部（幅0.5m）に包含層と遺構面を確認した．ピットを一つ確認した．出土遺物はない．

工区⑦

工区④の続きである．工区④の西端に設置した桝から西側を掘削した．幅1.5m程度で掘削したが，桝部分から西へ4.8mの間は，北側に幅0.2mで遺構面が確認されたが，遺構・遺物はなかった．工区⑦の西端の桝設置部分において，北西隅に遺構面が残存していたため，精査を行ったが遺構・遺物は検出されなかった．

工区⑨（工区⑨は0923・0924・0925に亘る）

ここでの工区⑨は，工区④の桝から北西に延びるルートの南半分である．工区④との境付近に，遺構面が残存していたため，調査に切り替えた．通常の遺構面（地山）より暗い色の土層（土質は通常の遺構面と同じ）の上面において，ピットを一つ検出した．ピットの記録後，通常の遺構面まで掘削したが遺構は検出されなかった．

写真148　工区④ピット検出状況（南より）

写真149　工区④掘削状況（西より）

写真150　⑨工区南端ピット検出状況（北東より）

4．（医病）東病棟新営機械設備（衛生）工事追加その１に伴う立会・発掘調査（0925）

＜調査期間＞

工区⑨　2009年10月27日～30日
工区⑥　2009年11月12～13日・19日
工区⑧　2009年11月24日～26日
工区⑩　2009年12月1日～３日

＜調査対象面積＞

工区⑨　15.9㎡（0923・0953の工区⑨を含む）
工区⑥　7.2㎡
工区⑧　7.2㎡
工区⑩　23.7㎡

＜調査員＞

大坪志子.

＜調査概要・結果＞

工区⑨

工区④から北西に延びるルートの北半である.「く」の字に西へ折れる角付近で，遺構面が残存していることがわかったため，本調査に切り替えた．茶色の地山土（地山①）上面を検出したところ，ピット２つと住居址か溝のような遺構の広がりを検出した．攪乱との境を掘削して精査したところ，深さが約1.2mの溝であることが判明した．掘削した結果，底部で土師甕の破片と上部で高坏の脚部が出土した.

写真151　Ｍ３完掘状況（南西より）

工区⑥

工区⑤・⑥の間桝から北へ掘削した．すべて埋土内であり，遺構遺物の検出はなかった.

写真152　工区⑥掘削状況（南より）

工区⑧

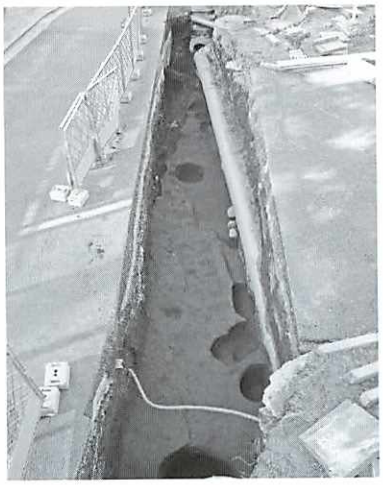
工区④の東側延長線上である．24日に一時掘削を行い，25日より作業員による発掘作業を行った．この工区は攪乱が少なく，遺跡の保存状態は良好であった．掘削の結果，古代の住居址1基とピット4個を検出した．住居址は位置的に，2008年度に調査した0835調査地点Ｉ区の住居址の続きと考えられる.

写真153　工区⑧掘削状況（西より）

工区⑩

昨年度実施した0835調査地点の西端の続きである．既設の埋設管や共同溝の存在から，文化財が遺存している可能性は低いと予想されたが，実際は既設管の下に，削平されてはいるが遺構面が残っていた．精査したところ，ピットが８個検出された．出土遺物は土師器片，須恵器片である.

写真154　工区⑩全景（南より）



5．（医病）基幹整備（自家発電設備更新）工事に伴う立会調査（0926）

＜調査期間＞

2009年10月13日・28日

＜調査対象面積＞

64㎡

＜調査員＞

小畑弘己・大坪志子.

＜調査概要・結果＞

特別高圧受電棟西側にある既設の地下タンクを撤去し，新たにタンクを設置する工事である.

特別高圧受電棟と既存タンクを繋ぐ配管部を地表下0.7mまで掘削した．既設の管は0.5mで検出した．これを撤去し新しい配管を行うが，埋土内である．遺構・遺物はない.

既設タンクの西側を1.7×1.7mの範囲で掘削した．この結果，地表下0.8mまでは現代埋土であり，以下でタンク設置時の掘り方を検出した．タンクから１m程度が掘り方であるため，タンク周囲の１m以内の掘削において撤去工事を進めるよう指示した.

既設タンク以外の部分については，現代の削平や攪乱によって，北西部で地表下1.4m，南側で地表下0.9mで，地山である鮮やかな橙褐色のシルト質土層が現れる．南側も暗渠などで攪乱が著しいが，それ以外は地山面が残存していた．南東隅に北東方向へ落ちる地山の変換点があり，調査区の東辺へ0.3mほどの落ちが認められた．この部分は褐色土および青灰色シルト層，黄白色砂層が互層となっており，水生の堆積物と思われる．よって，特別高圧受電棟およびその東接建物および周辺で，砂と土の互層が認められたのは，この地点から北東側へ地形が落ちることを意味している．この落ちの部分から４点ほどの水磨きされた古代土師器片が出土した.

写真155　作業風景（西より）

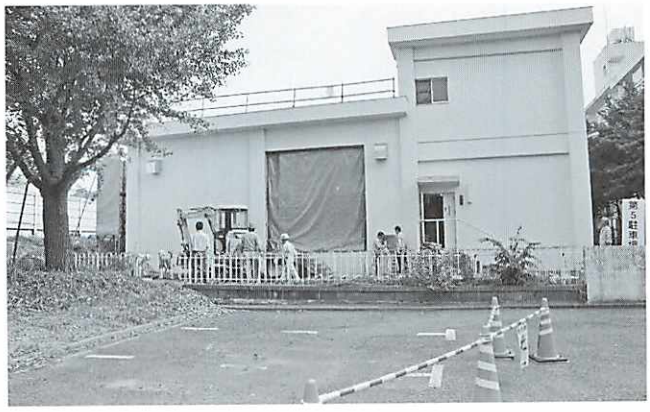


写真156　配管部掘削状況（西より）

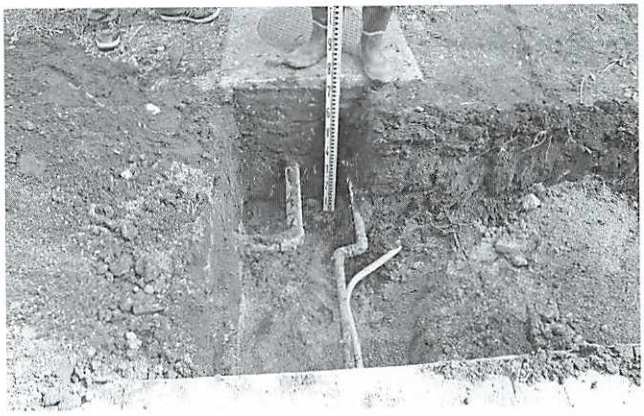


写真157　調査区西側土層（東より）

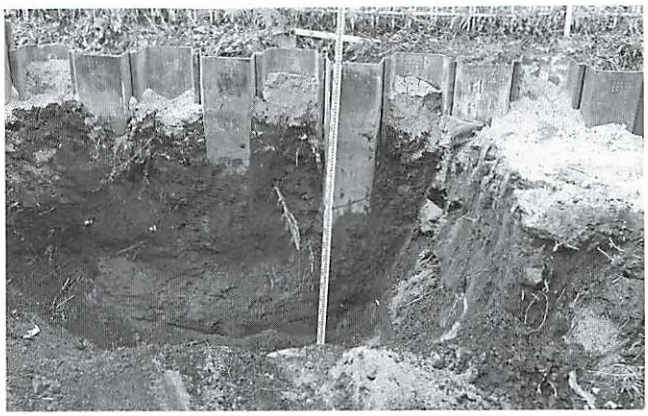


写真158　調査区南側掘削状況（南西より

6．（医病）第６病棟スロープ取設工事に伴う立会調査（0929）

＜調査期間＞

2009年10月29日

＜調査対象面積＞

２㎡

＜調査員＞

小畑弘己.

＜調査概要・結果＞

調査区は共同溝埋設工事がすでに実施され，それ以前の建物の地下で３ｍ以上掘削されている部分に重なる部分が９割であり，わずか建物との間は１ｍあまりの長さであった．この部分も隣接建物の基礎掘りによって攪乱されていることは十分に予想された．立会調査の結果，地表下0.5mほどの掘削であったが，現代の攪乱土であった．遺物・遺構ともに検出していない．

7．（本荘北）基礎研究棟北側プレハブ小屋改修工事に伴う立会調査（0930）

＜調査期間＞

2009年11日４日

＜調査対象面積＞

0.9㎡

＜調査員＞

小畑弘己.

＜調査概要・結果＞

地表下0.5m，幅0.3×0.3mの小規模の掘削であり，現況はアスファルト舗装である．最下面からは現代のものとおもわれる磁器の小片が出土した．掘削深度までは現代の覆土層であると判断される．それ以前にさかのぼる遺構や遺物は確認できなかった．

写真159　調査区遠景（北より）

写真160　掘削部土層（東より）

写真161　調査区（南より）

写真162　掘削部土層（東より）

8．（医病）東病棟北側排水管等取設工事に伴う立会調査（0931）

＜調査期間＞

2009年11月10日・18日

＜調査対象面積＞

A 地区　3㎡

B 地区　7㎡

C 地区　4㎡

＜調査員＞

小畑弘己.

＜調査概要・結果＞

A 地区

既存の排水管などが埋設されている部分に相当する．道路面地表下1.2mまで掘削されており，北側0.5mほどは共同溝埋設のため，さらに深く削平されていた．南側の埋設管の掘削部は，地表下1.3mほどであり，この部分は0924調査地点に相当する．以前の調査では，この下部に古墳時代前期の土器を多量に含む溝の底部が検出される可能性があるが，掘削深度が以前の0924調査地点と同じであり，それ以上の掘削がないことから，その下部は調査していない．しかし遺構ラインらしきものも明確に確認できていない．この部分に溝の肩がある可能性は少ないものと思われる．

B 地区

掘削範囲が一部変更になり，市文化課と施設部担当者の協議の上，図面差し替えで対応するとのことであった．このため，変更部分にて立会調査を行った．本地点は，共同溝付設地点（0104調査地点）と旧病棟建設部分を南北に貫くように設定されていた．調査の結果，これら間の部分において，一部撹乱は認められたが，遺構が存在していることが確認された．調査区の南側は旧病棟建設や周辺配管などによって地表下1.1mほどまで削平されていたが，北側の共同溝付設部分に接する部分では地表下0.8mほどで包含層が検出され，若干の遺物が出土した．ただ，部分的に凸凹の撹乱があり，撹乱を除去し地表下0.95mまで掘り下げた時点で，遺構の有無を確認し，住居址と思われる遺構を検出した．ただし，工事による掘削深度がこれより深くは及ばないため，記録のみをとって，発掘は行わなかった．縄文時代後期の土器片や古代の土師器・須恵器など10点あまりが出土した．

C 地区

排水桝を中心に放射状に３本の埋設管が付設される工事であるが，南側の部分は既存の工事により掘削した部分であり，北側2本もその大部分は共同溝付設部分（0104調査地点）に重なり，それ以外の部分の掘削に立会った．その結果，掘削深度内では遺構・遺物ともに検出されなかった．

以上より，共同溝付設部分と旧病棟建設部分は，一部削平と撹乱を受けているが，幅３mほどにわたって遺構が残存していることが確認できた．共同溝付設部分（0104調査地点）と旧病棟北側を巡る配水管付設工事（0006）に伴う発掘調査では，古墳時代前期の多量の土師器を廃棄した溝が発見されており，この溝の行方を探る意味でも，この部分の調査は今後重要となってくるものと思われる．

写真163　A 調査区遠景（西より）

写真164　A 調査区掘削風景（西より）

写真165　A 調査区掘削状況（西より）

写真166　B調査区掘削風景（東より）

写真167　B調査区遺構検出状況（北より）

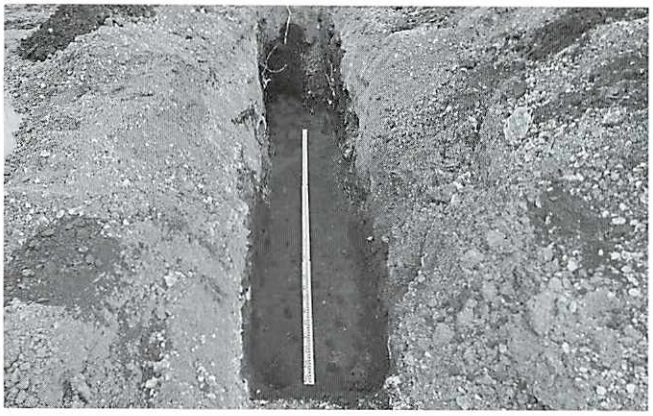


写真168　C調査区掘削状況（南より）

9．（医病）旧こばと保育園駐車場整備に伴う立会調査（0936）

＜調査期間＞

2010年1月12日

＜調査対象面積＞

12㎡

＜調査員＞

小畑弘己.

＜調査概要・結果＞

地表下0.4mより深くなるものについて立会調査との指導であるので，遊具基礎を中心に撤去工事に立ち会った．その結果，基礎の撤去についてはほとんど周辺を掘削せず，引き抜くような工事であり，しかも，地表下0.7mまでは砂などの埋土であった．本地域は昭和28年までは仙崇寺の墓地であり，大学敷地となって整備される際に改葬された墓がまだ残存していることが隣接する9601地点の発掘調査で確認されている．また，この際の地層の観察の結果，地表下0.6～0.8mまでは現代の埋土であることが確認されており，今回の掘削深度はほぼこの内に収まるものである．また，寺域となり墓地が形成される前は残っていたであろう古代の遺構も，9601調査地点での所見では，墓造営に伴いほとんど破壊されていた．今回は，掘削中に攪乱土から埋甕の破片が出土した．墓地が破壊されている状況を示している．

写真169　遊具基礎撤去風景（東より）

写真170　遊具基礎撤去後（東より）

写真171　基礎撤去跡出土埋甕片（北より）

写真172　調査地点遠景（東より）

写真173　基礎1掘削後（北より）

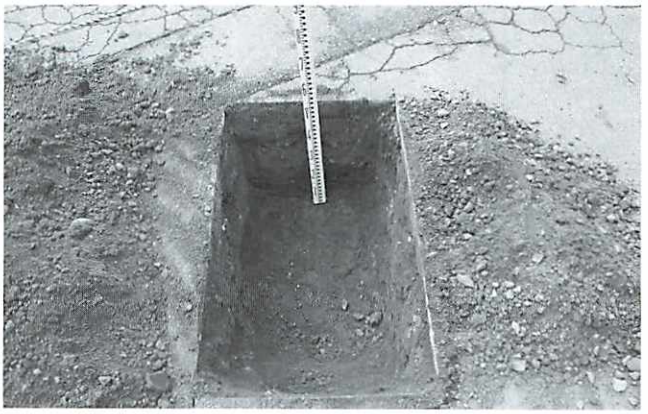


写真174　電線埋設部掘削後（東より）

写真175　基礎5掘削後（西より）

10.（本荘北）医学部駐輪場取設工事に伴う立会調査（0960）

＜調査期間＞

2010年３月５日

＜調査対象面積＞

17㎡

＜調査員＞

小畑弘己.

＜調査概要・結果＞

駐輪場屋根の基礎とそこへ引き込む電線埋設部を立会調査した．電線埋設部ではほとんど攪乱されており，一部地山が確認できた部分には遺構は確認できなかった．地山までの深さは0.3mであり，旧地形はかなり高くなっていることが確認できた．基礎部分は，南側列を中心に土層を確認したが，うち基礎１～５において遺構の覆土と思われる黒色土もしくは地山を確認した．とくに基礎１では地表下0.5mで黒色土を確認しており，電気埋設部や基礎4で確認した地山の高さ（0.3～0.35m）から判断すると若干下がってはいるものの，包含層とは考えにくく，遺構の覆土と判断した．基礎６・７は掘削深度の0.7mでも攪乱であったが，基礎５・３においては0.35mで南側0.4m幅ぐらいに遺構覆土と思われる黒色土が確認できた．また，基礎４と２では同等の深さで基礎５・３と同じく，南側0.4mほどの幅で地山が残存していた．これに対し，地形が土手状に高くなっている北側で基礎15を試掘したところ地表下0.7mまで現代の埋土であった．よって，施設部担当と協議し，基礎部分を40cmほど北側へずらすことで，遺構の保存を図ることにした．遺物は確認していない．

Ⅱ－5　本荘中地区　（図7参照）

1．（本荘中）中地区構内カーブミラー取設工事に伴う立会調査（0903）

＜調査期間＞

2009年4月23日

＜調査対象面積＞

1.19㎡

＜調査員＞

大坪志子.

＜調査概要・結果＞

本荘中地区南西隅の道路コーナー付近にカーブミラーを設置する工事である．0.85×0.85mの範囲を掘削したところ，地表下0.6m程度で既設管が検出されたため，申請範囲内で南側に若干位置をずらして掘削した．深さ0.8mまで掘削したが，埋土内であり遺構・遺物の検出はなかった．

2．（医病）基幹整備（電話交換設備更新）工事その2に伴う立会調査（0908）

＜調査期間＞

2009年6月5日

＜調査対象面積＞

1.6㎡

＜調査員＞

大坪志子.

＜調査概要・結果＞

医学部北西隅において電話線の配線工事を行った．当初約22mの配線工事を予定していたが，管理小屋とその1.7m程度南にあるハンドホールの間に配線することとなった．

ハンドホールの北側0.8m四方を地表下1.25mまで掘削した．ハンドホール設置時の掘り方内である．この部分から北側の配線は徐々に浅くするため，これらの部分も埋土内である．遺構・遺物の検出はない．

写真176　作業風景（南より）

写真177　掘削状況（西より）

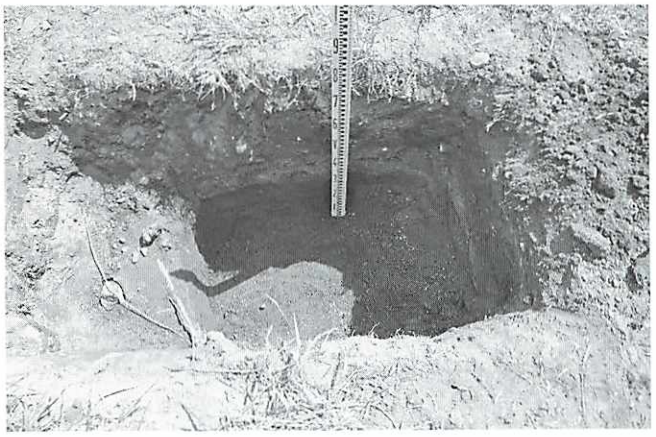
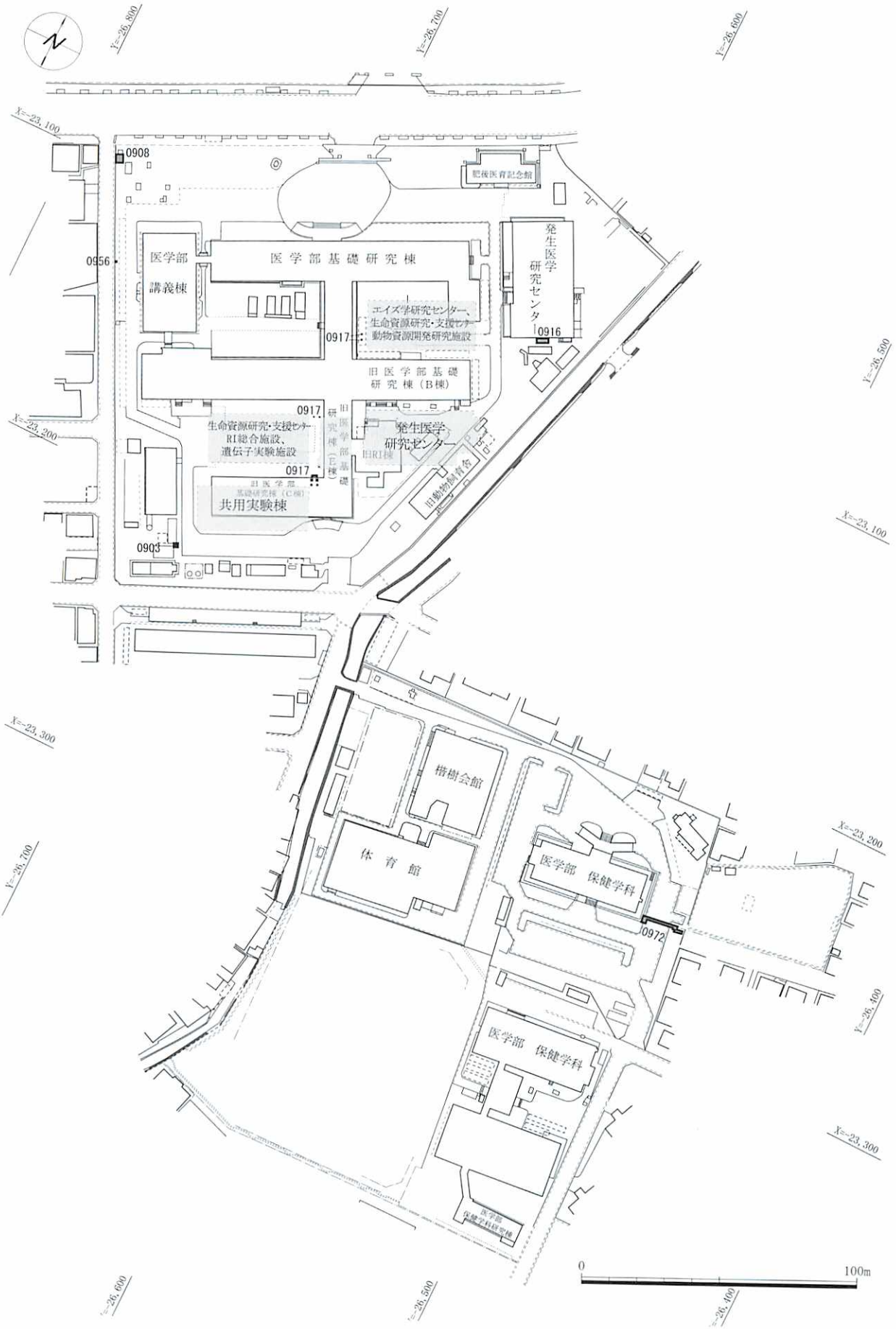


写真178　作業風景（南より）

写真179　掘削状況（北より）

図7　本荘中・南地区における調査地点配置図（1/2000）



3．（本荘中）動物資源開発研究施設棟南側屋外配管漏水修理に伴う立会調査（0916）

＜調査期間＞

2009年８月７日

＜調査対象面積＞

３㎡

＜調査員＞

大坪志子.

＜調査概要・結果＞

動物実験棟の南側において，地下の機械室へ外から配管を引き込んでいる箇所で，漏水が発生した．このため，既設管を検出し，隙間の補修工事を行った．降雨のたびに機械室への漏水が発生するため，台風シーズンを前に，熊本市文化課の許可を得て早急に処置することとなった．

動物実験棟の南側を１×３ｍの範囲で，壁に沿って掘削した．地表下0.8ｍ程度掘削した．既設管が複数あり，また建物建築時の掘り方内と思われ，土は埋土内であった．遺構・遺物の検出はない．

写真180　作業風景（東より）

写真181　掘削状況（南より）

4．（本荘中）構内通路屋根取設工事に伴う立会調査（0917）

＜調査期間＞

2009年８月10日

＜調査対象面積＞

8.06㎡（内0.44㎡）

＜調査員＞

大坪志子.

＜調査概要・結果＞

本荘中地区の各建物間を結ぶ通路に屋根を設置する工事である．0.6×0.6×0.65ｍ前後の基礎を10箇所掘削するものである．大きく３箇所に分かれるが，生命資源研究・支援センター・動物資源開発研究施設東棟の北東部は，同様の工事を2005年に実施している（0548調査地点，熊本大学埋蔵文化財調査室年報12）．2003年度に校舎取り壊しのための調査を行った跡地であり，文化財には影響ないと判断した．

このためエイズ学研究センター西側と共用棟北東部において立会調査を実施した．

共用棟北東部では，最も南の基礎部を１箇所試掘した．0.5×0.5×0.7ｍの掘削を行ったが，埋土内であり遺構・遺物の検出はなかった．9511調査地点の南東部に当たるが，9511調査地点の結果を勘案すると，周辺は１ｍ以上掘削しなければ包含層や遺構面には達しない．他の基礎の工事も問題ないと判断した．

エイズ学研究センター西側では，スロープ沿いに0.44×0.44×0.5ｍ程度の穴を2箇所掘削する工事である．うち，１箇所について試掘を行ったが，埋土内で遺構・遺物の検出はなく，他の１箇所も文化財に影響ないと判断した．

写真182　①地点遠景（南より）

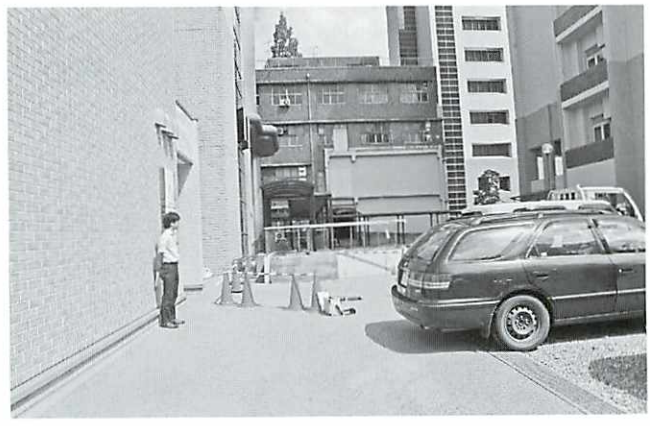


写真183　①地点掘削状況（南より）

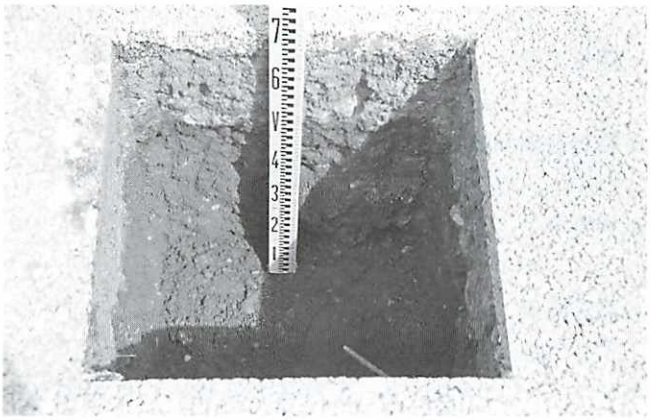


写真184　②地点掘削状況（西より）

写真185　掘削状況（南東より）

写真186　掘削後状況（東より）

5．（本荘中）ボイラー室変電設備改修その他工事に伴う立会調査（0956）

＜調査期間＞

2010年３月２日

＜調査対象面積＞

２㎡

＜調査員＞

小畑弘己.

＜調査概要・結果＞

調査地点は敷地西側の道路に接するブロックフェンス際であり，この部分は隣の道路面から0.6mほど高い．また，すでに埋設された電気配線などもあり，攪乱を受けていた．遺構・遺物ともになし．

Ⅱ－6　本荘南地区(九品寺地区)(図7参照)

1．(本荘南) 保健学科Ｅ棟給水配管工事に伴う立会調査 (0972)

＜調査期間＞

2010年３月26日

＜調査対象面積＞

20.5㎡（内8.7㎡）

＜調査員＞

大坪志子.

＜調査概要・結果＞

保健学科Ｅ棟の南東隅から，道路を横断した東側の給水管へ，給水管を繋ぐ工事である．東側５ｍの区間は1.5m，他は1.0mで掘削を行った．地表下0.6m前後で，黄褐色のきれいな砂質層を検出したが，遺構・遺物は検出されなかった．地山土に非常に似ているが，砂の混入があり二次堆積土と思われる．この層の上は現代埋土であり，遺物包含層はなかった．東側は，1.5mまでは既設管の埋設工事で既に一度掘削しており，今回の工事に際して文化財への影響はない．

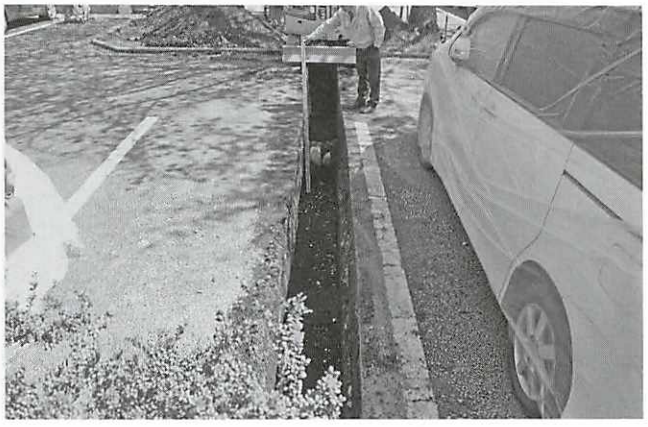
Ｅ棟北側，玄関横の地点では既設の桝と桝の間を0.7×1.3の範囲で掘削した．既設管を検出するまで掘削し，埋土内であることを確認した．繋ぎ替え工事は，これ以上の掘削が無いことを確認し，作業を終えた．遺構・遺物の検出はない．

写真187　保健学科Ｅ棟玄関横作業風景（東より）

写真188　保健学科Ｅ棟玄関横掘削状況（東より）

写真189　保健学科Ｅ棟東側作業風景（東より）

写真190　保健学科Ｅ棟東側道路部分掘削状況（西より）



Ⅱ－7　大江地区（薬学部）　（図8参照）

1．（大江）薬学部育薬フロンティアセンター新営その他工事に伴う立会調査（0906）

＜調査期間＞

2009年５月27日

＜調査対象面積＞

191.1㎡（内0.8㎡）

＜調査員＞

大坪志子．

＜調査概要・結果＞

既設の共同実験棟周囲において，基礎新設や舗装等を行う工事である．最も深く掘る基礎設置部分について立会調査を行った．

最も東側の基礎設置部分内で0.8×0.5mの範囲を地表下0.9mまで掘削した．0.9mで丁度水田土と思われる土を検出した．この土の上層はきれいな土が堆積しており包含層かとも考えられたが，遺物・遺構等は認められなかった．この掘削範囲内にある撤去予定のコンクリート枡について，南側面を掘削し，既存の深さを確認した．コンクリート枡も丁度水田土の上に載っている状態であった．枡は破砕して撤去するとし，他の工事については，本日の掘削より浅いことから，慎重に進めるよう指示した．

写真191　作業風景（西南より）

写真192　掘削状況（東より）

写真193　コンクリート枡南側掘削状況（南より）

2．（大江）薬学部樹木伐採・移植工事に伴う立会調査（0909）

＜調査期間＞

2009年６月４日

＜調査対象面積＞

42.7㎡（内10.48㎡）

＜調査員＞

大坪志子．

＜調査概要・結果＞

薬学部育薬フロンティアセンター新営工事のための，樹木移植工事である．樹木９本を伐根撤去し，３本を移植する工事である．移植元は最も高いところでは２mの高さの盛り土に植栽してあるため，GLに近い箇所で，最も深く掘削する場所について調査を行った．中庭南西の樹木の抜根を行ったところ，実際は0.8m程度の掘削で，埋土内であった．東側の樹木の抜根でも，アスファルト面からは0.4mの掘削で埋土内であった．他の樹木も同程度の掘削で十分に作業が行えることを確認し，慎重に進めるように指示した．

続いて，移植先の掘削を行った．講義室南側，および記念館南側でそれぞれ1.6×1.2m，1.0×1.5mの範囲を掘削した．深さはいずれも1.0mで，埋土内であった．

抜根および移植先において遺構・遺物の検出はない．

図８　大江地区における調査地点配置図（1/2000）

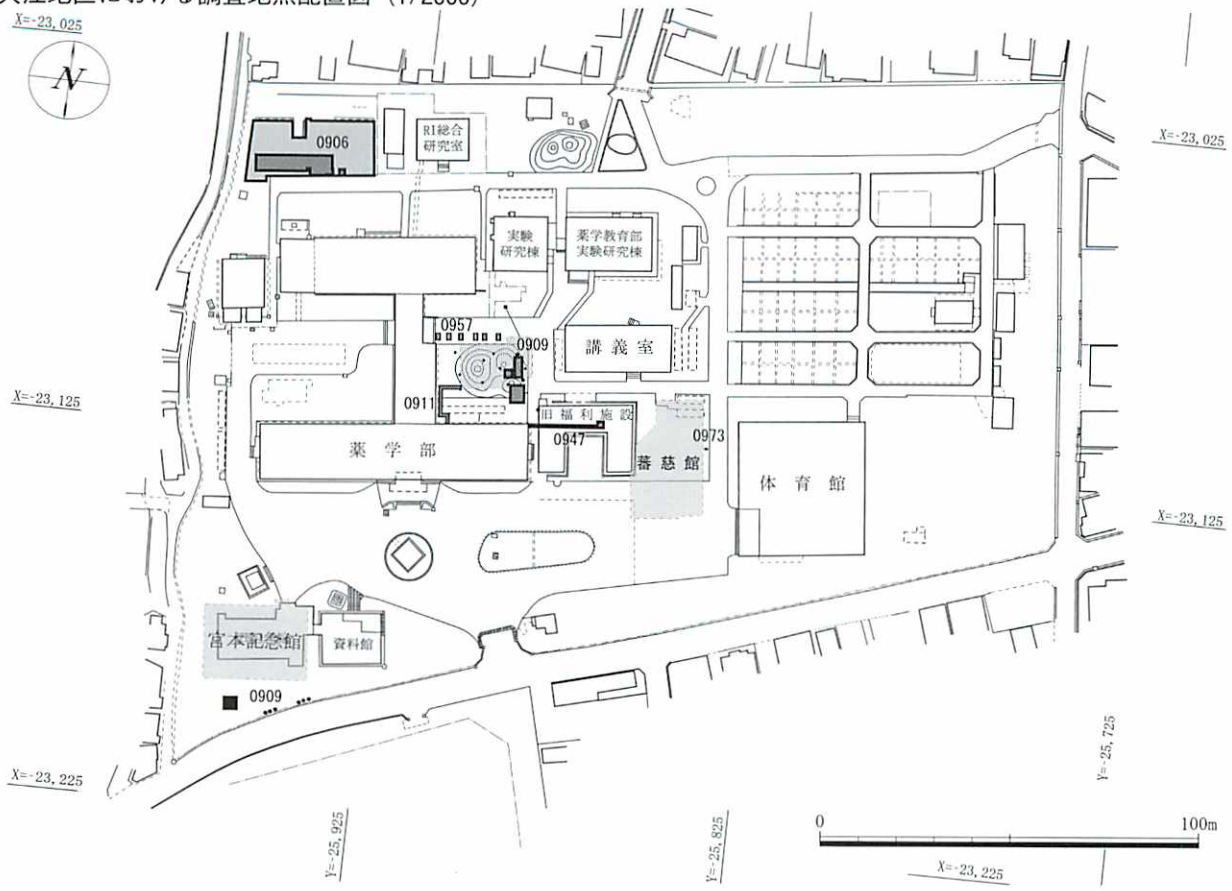


写真194　抜根①作業風景（北より）

写真195　抜根①掘削状況（南より）

写真196　移植先①掘削状況（南より）

3．（大江）薬学部育薬フロンティアセンター新営その他電気設備工事に伴う立会調査（0911）

＜調査期間＞

2009年７月３日・22日

＜調査対象面積＞

3.24㎡

＜調査員＞

大坪志子.

＜調査概要・結果＞

７月３日に，新築建物の建設予定範囲内にある外灯の撤去工事を行った．外灯基礎の周囲を0.5mの幅で深さ0.8mまで掘削した．この掘削の範囲では埋土内であり，遺構や遺物の検出はなかった．外灯はこの後クレーンにより引き抜き，工事は終了した．

７月22日，新築建物に付帯する電気配線の立会調査を実施した．熊本市文化課の試掘によると，地表下0.9mで土器片が出土し，遺跡が確認された旨の報告があった．工事の予定掘削深度も0.9m程度であったため，2箇所にトレンチを入れて確認を行った．建物西側のトレンチ１では，地表下0.9mまで，20～30cm大の礫が多量に検出された．礫群の切れ目まで掘削範囲を拡張したが，0.9mまでは近・現代のものと思われる陶器片が含まれており，包含層や遺構の検出はなかった．薬学部本館に近いトレンチ２においても0.8mまで掘削したが，やはり現代の埋土内であり，本工事による遺跡への影響はないと判断した．

写真198　基礎周囲掘削状況（東より）

写真199　トレンチ2作業風景（北東より）

写真200　トレンチ1掘削状況（東より）

写真197　作業風景　（南より）

写真201　トレンチ2掘削状況（西より）

4．（大江）薬学部講義棟前外灯工事に伴う立会調査（0947）

＜調査期間＞

2010年２月12日

＜調査対象面積＞

２㎡

＜調査員＞

小畑弘己．

＜調査概要・結果＞

掘削深度は外灯基礎部分で地表下1.5m，配線部分で0.6mであるため，基礎部分をまず掘削し，土層を観察した．その結果，地表下0.8mまでは埋土であり，その下1.2mまで茶褐色土層，その下部が暗黒褐色土層であった．この下部の二枚の層は自然堆積土であるが，遺物などはまったく含まれていなかった．配線部分は埋土内に収まるため，慎重に工事を行うよう指導した．

5．（大江北）薬学部屋外通路屋根取設工事に伴う立会調査（0957）

＜調査期間＞

2010年３月３日

＜調査対象面積＞

３㎡

＜調査員＞

小畑弘己．

＜調査概要・結果＞

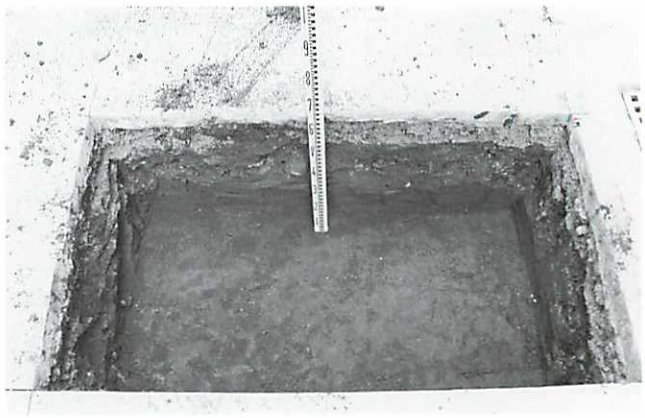
基礎部分６ヶ所のうち，３箇所で土層観察を行った．いずれも地表下0.4～0.6mまで瓦礫混じりの埋め土であったが，その下部には暗茶褐色の自然層が観察された．しかし，遺物はまったく含まれていなかった．よって，その他の３箇所においては慎重に工事を行うよう指導した．遺構・遺物ともに検出していない．

写真202　掘削作業遠景（南より）

写真203　外灯基礎部分掘削後

写真204　調査地遠景（東より）

写真205　基礎Ｄ掘削後（西より）



6．（大江北）薬学部蕃滋館屋外給水配管工事に伴う立会調査（0973）

＜調査期間＞

2010年３月26日

＜調査面積＞

0.34㎡

＜調査員＞

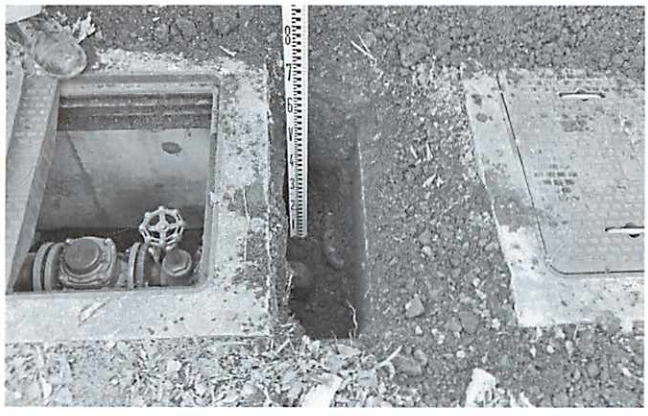
大坪志子.

＜調査概要・結果＞

薬学部蕃滋館東側の給水管工事である．桝と桝の間の0.5mを掘削した．既に桝の工事のため周囲を1.0m程度の深さまで掘削している箇所であり，既設管も入っている．0.6mまで掘削し，既設管を検出して掘削作業を終えた．遺構・遺物はない．

写真206　作業風景（北東より）

写真207　掘削状況（東より）



Ⅱ－８　宇留毛地区

1．（宇留毛）学生寄宿舎駐輪場新営工事に伴う立会調査（0904）

＜調査期間＞

2009年５月８日

＜調査対象面積＞

115.6㎡（内16㎡）

＜調査員＞

小畑弘己.

＜調査概要・結果＞

駐輪場の基礎部掘削範囲（南北２箇所）の東西端を１箇所ずつ掘削深度まで掘削して，遺構や遺物の残り具合を確認した．北側掘削部の西側は1.0mほど掘削したが，表土0.1mの下はすべて礫（5～15cm）混じりの褐色ローム層であり，このあたりの基盤上部の部分と思われる．これを裏付けるように，同東側では旧地表が西側より１mほど深く掘削されているためか，地表下0.5mで直径50cm以上の礫が現れた．おそらく基盤により近い部分と思われる．南側掘削部は，西側が地表下0.6mほどまで掘削したが，現代の埋土（バラス・砂利）であり，同東側は深さ0.4mで暗褐色のローム土層であり，その下部は掘削深度0.8mまで北側掘削部で認められた礫混じり褐色ローム土であった．この南側掘削部東端部分は，調査区でも低い部分に相当し，旧土層があまり削平されていない部分と思われる．しかし，上部の暗褐色土層中からは遺構・遺物ともに検出されていない．

写真208　調査地点遠景（西より）

写真209　北側掘削区西側土（南より）

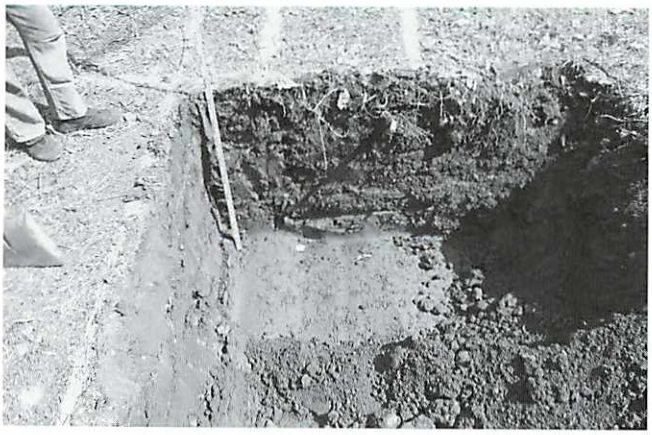


写真210　南側掘削区東側（北より）

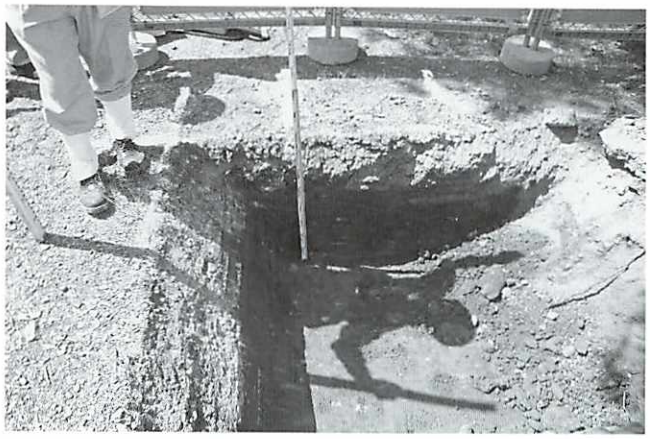


写真211　A区遠景（北西より）

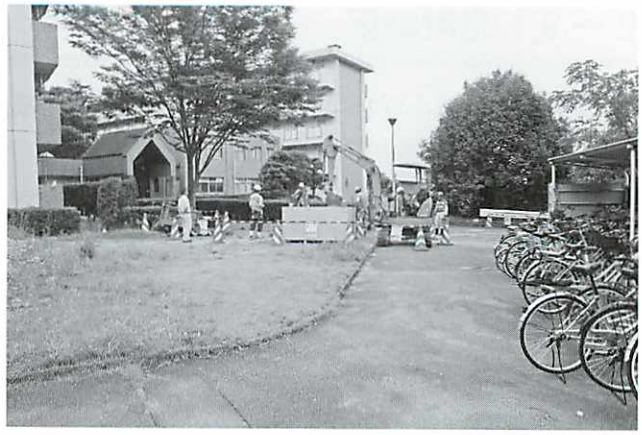
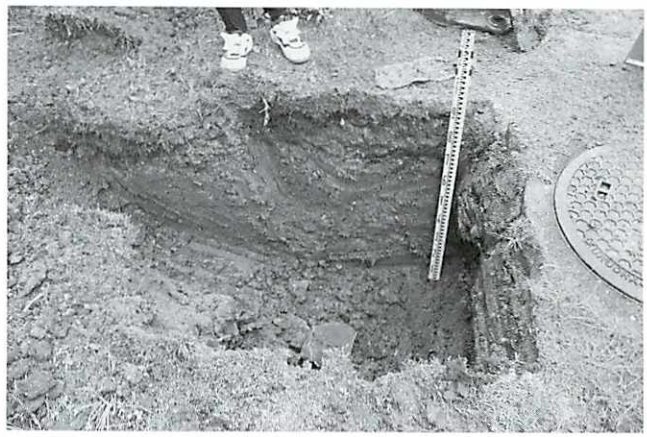


写真212　A区マンホール部土層（北より）



2．（宇留毛）留学生宿舎新営電気設備工事（追加その５）に伴う立会調査（0915）

＜調査期間＞

2009年７月28日

＜調査対象面積＞

２㎡

＜調査員＞

小畑弘己.

＜調査概要・結果＞

Ａ区間は掘削深度が地表下0.7mであり，Ｂ区・Ｃ区が0.4mであるのに比べ深いため，Ａ区のマンホール連接部を中心に土層を確認した．その結果，地表下0.9mにおいても攪乱土であり，配管部分を東に延ばした部分においても同様であった．一帯は造成によってかなり地形が変化している可能性が高い．遺構・遺物ともに検出していない．

Ｂ区・Ｃ区は道路部分に相当し，アスファルトや砕石の層が地表下0.3mまで存在することから，遺構・遺物は存在しないと予想した．

Ⅱ－9　京町地区　（図8参照）

1．（京町）附属小学校プール他改修機械設備工事に伴う立会調査（0933）

＜調査期間＞

2009年12月９日

＜調査対象面積＞

62.04㎡（内1.8㎡）

＜調査員＞

大坪志子.

＜調査概要・結果＞

附属小学校プールのプールトイレ内と周辺の給水管の敷設工事である．①地点（トイレ内）では，既設の配管を更新する工事である．0.4m の深さまで掘削したが，埋土内であり遺構・遺物の検出はない．届出のトイレ内の他の箇所についても同様の条件であり，施工よしとした．②地点（トイレ東側給水管ルート）では，0.8×0.8ｍの範囲を試掘した．埋土内で遺構・遺物の検出はない．附属小学校・中学校の構内の生活面より２ｍ以上高い地点になる．既往の調査で周辺はかなり削平されていることがわかっており，プール・トイレ周辺は本来の高さを残すものかもしれないが，プール建設時の盛り土や造成も考えられる．③地点（プール附属家南側）は，給水管の西端である．掘削の結果，地表下0.3ｍで分岐予定の給水管が検出された．このため，配管のための掘削は0.4ｍ程度でよいこととなった．埋土内であり遺構・遺物はない．配管の東側は，既設管が入っており，この間の上もしくは掘り方内に配管されるため，文化財に影響はないと判断した．

写真213　①地点掘削状況（西より）

写真214　②地点作業風景（南より）

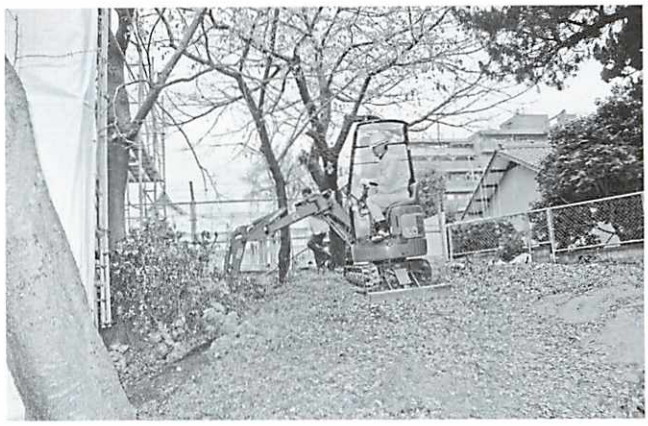


図９　京町地区における調査地点配置図（1/3000）

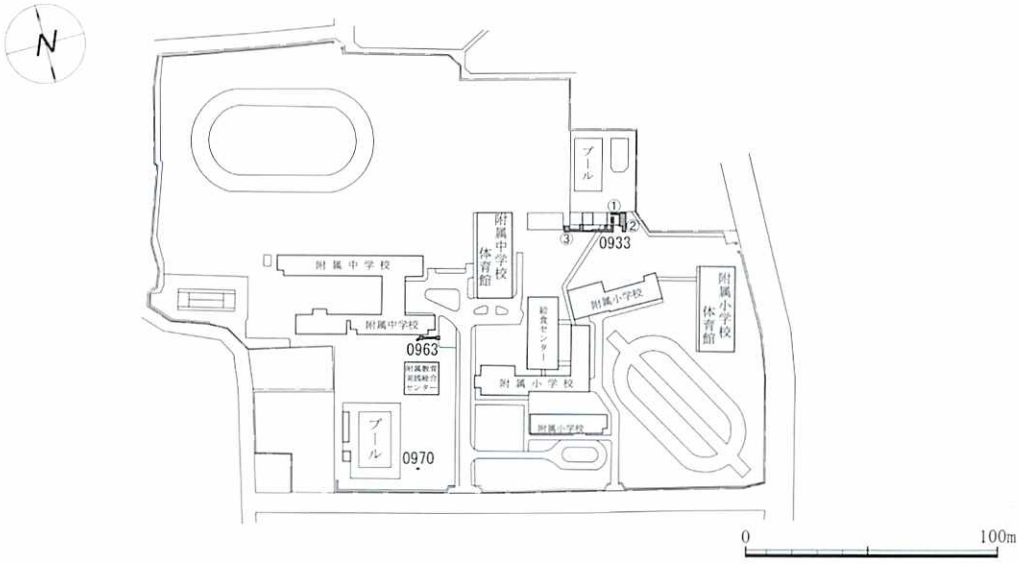


写真215　②地点掘削状況（北より）

写真216　③地点作業風景（南西より）

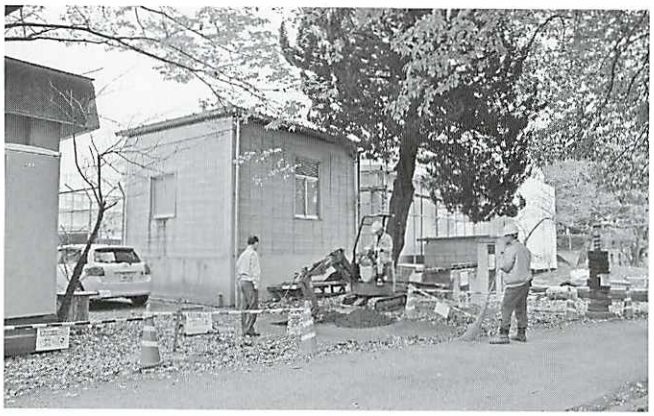


写真217　③地点掘削状況（西より）

2．（京町）附属中学校校舎南側雨水管改修工事に伴う立会調査（0963）

＜調査期間＞

2010年３月10日

＜調査対象面積＞

0.63㎡

＜調査員＞

大坪志子.

＜調査概要・結果＞

0719調査地点の東側に雨水桝を設置し，既設枡を取替え，それぞれ配管する工事である．2007年度に工事設置しているはずの枡と配管が，工事されていなかったため，途中で雨水管が切れている状態である．校舎南東端の既設枡を撤去し，その下を新設桝の設置に必要な深さまで掘削することとした．既設枡が深さ0.7mと浅く，その下を慎重に掘削したところ，地表下1.2m程度で包含層を確認し，1.3m前後で遺構面を確認した．遺構面にはピット１つと浅い窪みが３箇所あった．包含層からは，弥生時代の甕棺の口縁部が一点出土した．新設の桝は0719調査地点の範囲内であり，配管部分は包含層より浅いため施工に問題はないと判断した．

写真218　作業風景（東より）

写真219　掘削状況（西より）

3．（京町）附属中学校教育学部同窓会弔魂碑案内標柱設置工事に伴う立会調査（0970）

＜調査期間＞

2010年３月23日

＜調査対象面積＞

１㎡（内0.12㎡）

＜調査員＞

大坪志子.

＜調査概要・結果＞

附属中学校正門西の駐車場にある弔魂碑横に標柱を立てる工事である．石碑北側に0.9×0.9m の範囲で標柱を立てる．0.3×0.4mの範囲で，地表下0.4mまで掘削したが埋土内であり，遺構・遺物の検出はなかった.

写真220　作業風景（北より）

写真221　掘削状況（東より）

跋　文

2009年６月，埋蔵文化財調査室は長年すみなれた「旧図書館工学部分室」を出て，白川をのぞむ新しい建物に移転した．本調査室は1994年にこの建物の１階に開室しているので，我々は16年にわたりお世話になったことになる．

本調査室のはいっていた建物は1925（大正14）年に築造され，すでに築85年を経ている．この建物は旧高等工業学校校舎として，現在の事務局本館とともに造られた．最初は標本室だったというから，岩石や鉱物の標本棚が収納されていたのだろう．そういえば，２階でそれらしいものが見つかったと大坪志子助教が不思議そうな顔で教えてくれたことがあった．その後建物は図書閲覧室になった．

1994年，ここが埋蔵文化財調査室になってからは，室内に発掘器材や測量機器が置かれ，遺物箱が重ねられ，建物の前では遺跡の土壌がウォーターフローテーションにかけられた．部屋では大勢の人たちが土器を接合したり，図面を書いたり，小畑弘己准教授や大坪助教が夜遅くまで作業したり研究したりした．

2009年夏，調査室が建物を出たあと無防備になった建物の内外を歩いたことがある．もとより外の壁が剥げ落ちたり汚れていたりしたこともあって，かつてこの建物を鑑賞することはなかったが，なかなか優雅なつくりである．作業員の方々が遺物整理をした大部屋の白い角柱柱頭には凝ったデザインの装飾があり，よく雨漏りした階段の手すりはホコリの下で艶を保っていた．電灯が落ちかけた吹き抜け天井下の階段の円柱は複数の花崗岩が組み合って文様をなす堂々としたものである．建築史学者である埋蔵文化財調査委員会委員長の伊藤重剛教授によると「日本のコンクリート建築の初期の頃の建物であるため，それ以前の石造や煉瓦造の作り方をコンクリート造に置き換えており，現在のコンクリート造工法とは違う過渡期の様相を見せている」のだという．

2009年夏に始まった改修工事によって，翌年春にはこの建物は事務局本館と肩を並べるほど典雅な姿を取り戻した．１階はReposerルポゼ（仏語　安らぎの意）というラウンジになり，白い角柱も優雅な階段も健在である．ただ小畑准教授が顕微鏡をのぞいていた考古学史的空間は立派なトイレになっていた．

現在，埋蔵文化財調査室はここから南南西300mの地に２階建て建物として独立した．１階に展示室，作業室をもつ立派な調査室だ．新しい仕事場を得て，我々はこれからもよい調査をし，構内の埋蔵文化財の保存と活用に貢献していかねばならない．移転にあたり伊藤委員長，施設部の方々には多大なご配慮をいただいた．厚く御礼申し上げる．

埋蔵文化財調査室（2009）

埋蔵文化財調査室長
文学部教授　木　下　尚　子

Summary

In 1985, Kumamoto University planed a reconstruction of campus. But it was known that some of campus is designated as buried cultural assets zone. In the fiscal year 1994, Kumamoto University formed the Archaeological investigation committee and the Archaeological operation office in haste, and has been excavating the campus sites when the superannuated school buildings were rebuilt.

We have two main campus sites at other areas. The one is the Kurokami area where is constituted of faculty of science and faculty of Engineering (south area) , faculty of Education, faculty of Laws, and faculty of Letters (north area) ,and locates in Kurokamimachi site. The site is located at the foot of Mt.Tatuta (above 151.6m) on a low terrace (above sea level 18～25m) formed by the Shirakawa River. The site is regarded as an ancient station "Kokai". The other one is the Honjo area where is constituted of School of medicine, college of Medical Science (south area), and Kumamoto University hospital (north area), and belong to Honjo site. The site located on a low terrace (above sea level 12～13m) formed by Shirakawa River, similar to Kurokamimachi site. It is 2km from Kurokamimachi site to Honjo site in a straight line. In the circumstance of Honjo site, there are large ancient settlement sites like Oe site and Shinyashiki site.

The number of investigations in the current year is the following: 6 excavations, 73 presence investigations. The main results are the following.

At 0923・0924・0925 excavation spot in the Honjo site, we excavated the site before drainage works. This excavation point adjoins the 0104 excavation point. We found some pit dwellings, postholes and some potteries of Ancient time and Kohun time. The area of this excavation point was tight, but we found many relics and structural remains.

At 0932 excavation spot in the Kurokamimachi site (south area), we excavated the site before the repair works of a branch office of library. We excavated pit of this structure, we found a ditch of Ancient time.

At 0938 excavation spot in the Kurokamimachi site (south area), we excavated the site before a ground work of ecology system laboratory. This excavation point adjoins the 9907 excavation point. We excavated two trenches, and we found an ancient time ditch, and some Jomon potteries.

At 0935 excavation spot in the Kurokamimachi site(north area), we excavated the site before the electric wiring work for repair work of the gymnasium. We found a pit, some potteries, a fragment of porcelain and two fragments of roof tiles of Ancient time.

In this year, many excavation points adjoin the point that had been excavated in the past. We have a new understanding that the Honjo site is preserved on good condition, and so we found many structural remains and relics if the excavation point was not destroyed by recent construction, and that in the Kurokamimachi site (south area), the relic of Jomon time is distributed around 0938 excavation point.

We got new facts at every excavations, but there are many ambiguous points about the area and character of the site, too.

So we will do best to make it obvious the whole aspect of these sites from now on, too.

구마모토 대학은 건물이 낡아서 1985년 부터 재건축 계획을 세우고 있었으나, 대학이 있는 구내지역이 유적 포함지로 지정되어 있다는 사실을 알게 되었다. 그 때문에 재건설을 하기 전에 매장문화재의 발굴조사를 위해 급거 조사위원회와 조사실을 편성해, 1994년 부터 조사를 해 왔다.

구내지역의 유적은 크게 두 지구로 나누어진다. 하나는 공학부・이학부 (남지구), 교육학부・법학부・문학부 (북지구) 가 자리한 쿠로카미 (黒髪) 캠퍼스로, 쿠로카미마치 (黒髪町) 유적의 일부에 해당한다. 이 유적은 타쓰타산 (立田山)(표고151.6m) 기슭의 저위하안단구 (표고 18~25m) 상에 위치하며, 고대 고카이 (蚕養) 의 역전으로 추정되고 있다. 또 하나는 의학부・의료단기대학 (남지구), 대학부속병원 (북지구) 이 자리한 혼조 (本荘) 캠퍼스이다. 이 지구는 혼조 (本庄) 유적의 일부이며, 쿠로카미마치유적과 마찬가지로 시라카와 (白川) 강의 저위안단구 (표고 12～13m) 상에 위치한다. 혼조유적은 쿠로카미마치유적으로부터 직선거리로 2km 쯤 떨어져 있다. 이 유적과 근접한 곳에 오오에 (大江) 유적과 신야시키 (新屋敷) 유적 등 큰 고대 취락 유적이 있다.

2009년도에 실시된 조사 건수는, 발굴 조사 6건, 입회 조사 73건이었다. 주된 조사의 결과는 다음과 같다.

혼조유적0923・0924・0925 지점에서는, 새로운 병동 건설에 수반건되는 배관공사를 하기 전에 발굴 조사를 행했다. 이 지점은 0104조사지점 바로 옆에 위치한다. 조사의 결과 고대 움집터, 기둥구멍과 토기류를 검출되었다. 이 지저의 조사면적은 좁은데도 많은 유구와 유물를 검출되었다.

쿠로카미마치유적 0932지점에서은, 구 공학부 도서관 분실의 개수공사를 하기 전에 발굴 조사를

행했다. 지하실 부분을 발굴조사하고, 고대 도랑을 검출됐다.

쿠로카미마치유적0938지점에서는, 생태학 시스템 실험실의 접지 공사를 하기 전에 발굴 조사를 행했다. 이 지점은 9907 조사지점 옆에 위치한다. 가늘고 긴 트렌치를 이 개소 조사했다. 이 지점에서는, 주로 죠몽토기가 출토됐다.

쿠로카미마치유적0935지점에서는, 체육관 개수공사에 수반건되는 배선공사를하기 전에 발굴 조사를 행했다. 조사의 결과 고대 구멍과 토기, 자기, 기와가 검출될 수 있다.

본연도 조사한 지점은 이전에 조사한 지점에 인접하는 곳이 많았다. 따라서 혼조 (本庄) 유적은 보존 상태가 좋고 근년의 공사 때문에 파괴됐지 아니면 유구나 유물이 많이 검출되는 것, 또 쿠로카미마치유적0935자점 주변에서는 죠몽시대 유물이 분포하는 것을 재인식했다.

이연도 실시된 조사로, 지금까지의 조사결과를 뒷받침할 결과를 얻었다. 근대와 현대의 개발행위 때문에, 이미 파괴된 곳도 있지만, 각 캠퍼스에서는 기본적으로 유적은 잘 남아 있음을 다시 확인할 수 있는 결과가 돼었다.

付篇１　2009年度熊本大学埋蔵文化財保護対策組織

１．国立大学法人熊本大学埋蔵文化財調査委員会規則（H16.4.1～）

（設　置）

第１条　国立大学法人熊本大学法人基本規則（平成16年４月１日制定）第29条第１項の規定に基づき、国立大学法人熊本大学（以下「本学」という。）に、国立大学法人熊本大学埋蔵文化財調査委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（組　織）

第２条　委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

(1)　文学部、教育学部、法学部及び医学部附属病院から選出された教授又は准教授　各１人

(2)　大学院自然科学研究科及び大学院生命科学研究部から選出された教授または准教授　各２人

(3)　施設部長

(4)　埋蔵文化財調査室長

(5)　その他委員会が必要と認めた者　若干人

２　前項第１号、第２号及び第５号の委員は、学長が委嘱する。

３　第１項第１号、第２号及び第５号の委員の任期は２年とし、再任を妨げない。

４　第１項第１号、第２号及び第５号の委員に欠員を生じた場合の補欠の委員の任期は、前項の規定にかかわらず、前任者の残任期間とする。

（任　務）

第３条　委員会は、本学の施設整備に伴う埋蔵文化財の発掘調査に関する重要事項を調査審議する。

（委員長）

第４条　委員会に委員長を置き、委員の互選によって定める。

２　委員長は、委員会を召集し、その議長となる。

３　委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代行する。

（議　事）

第５条　委員会は、委員の過半数が出席しなければ、議事を開き、議決をすることができない。

２　委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（意見の聴取）

第６条　委員長は、必要があるときは、委員以外の者を委員会に出席させ、意見を聴くことができる。

（調査室）

第７条　委員会に、埋蔵文化財の発掘調査に関する業務を行うため、埋蔵文化財調査室（以下「調査室」という。）を置く。

２　調査室の業務、組織その他必要な事項については、別に定める。

（事　務）

第８条　委員会の事務は、施設部施設企画課において処理する。

（雑　則）

第９条　この規定に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附　則

１　この規則は、平成19年５月24日から施行する。

２　この規則施行後、最初に委嘱される第２条第１項第２号の委員の任期は、同条第３項の規定にかかわらず、平成21年３月31日までとする。

３　附　則（平成21年12月24日規則第291号）

この規則は、平成22年１月１日から施行する。

2．熊本大学埋蔵文化財調査室要項

（趣　旨）

第１条　この要項は、国立大学法人熊本大学埋蔵文化財調査委員会規則（平成16年４月１日制定）第７条第２項の規定に基づき、国立大学法人熊本大学埋蔵文化財調査室（以下「調査室」という。）の業務、組織その他必要な事項について定める。

（業　務）

第２条　調査室は、国立大学法人熊本大学（以下「本学」という。）の施設整備に伴う埋蔵文化財の発掘調査に関する次の業務を行う。

(1)　実施計画の立案及び実施に関すること。

(2)　出土した埋蔵文化財の整理、保管及び保存に関すること。

(3)　文化庁等に提出する報告書の作成に関すること。

(4)　その他必要な事項

（組　織）

第３条　調査室に室長を置く。

２　室長は、調査室に関する業務を掌理する。

３　調査室に調査員その他必要な職員を置くことができる。

４　調査員は、発掘調査に関する業務を行う。

（室長等の任命）

第４条　室長及び調査員は、本学の教員のうちから学長が任命する。

２　学長は、必要がある場合は、学外の者を調査員に委嘱することができる。

（事　務）

第５条　調査室の事務は、関係学部等の協力を得て、施設部施設企画課において処理する。

（雑　則）

第６条　この要項に定めるもののほか、調査室の運営に必要な事項は、学長が別に定める。

附　則

この要項は、平成16年４月１日から実施する。

3．2009年度熊本大学埋蔵文化財保護対策組織

1　埋蔵文化財調査室組織（2009年４月１日現在）

＜室　長＞	（併・文学部教授）	木下　尚子（2005.10.1～）
＜調査員＞	（併・文学部准教授）	小畑　弘己
	（併・文学部助教）	大坪　志子
＜事務補佐員＞		村田　知聖
＜室内作業員＞	（2009年６月～2010年２月）	江口　　路
		小山　正子
		首藤　優子
		増井　弘子
		山嵜　早苗
	（2009年６月～10月）	長谷　智子
	（2009年６月～2010年３月）	末吉　美紀

	鬼塚　美枝
(2009年７月～2010年３月)	早川　　翔
(2009年12月～2010年３月)	神川めぐみ
(2010年１月)	谷川　優子
(2010年１月～２月)	髙濱　美來
	田上　　慶

2　埋蔵文化財調査委員会

委員長	伊藤　重剛	(大学院自然科学研究科教授)	任期 (2009.4.1～2011.3.31)
委　員	杉井　　健	(文学部准教授)	(2009.4.1～2011.3.31)
	黨　　武彦	(教育学部准教授)	(2009.4.1～2011.3.31)
	山根　聡恵	(法学部教授)	(2009.4.1～2011.3.31)
	長谷川四郎	(大学院自然科学研究科教授)	(2009.4.1～2011.3.31)
	宇宿功市郎	(大学院医学薬学研究部教授)	(2009.4.1～2011.3.31)
	今村　順茂	(大学院医学薬学研究部准教授)	(2009.4.1～2011.3.31)
	平井　俊範	(医学部附属病院准教授)	(2009.4.1～2011.3.31)
	田代　文彦	(施設部長)	(2008.9.1～)
	木下　尚子	(埋蔵文化財調査室長)	(2005.10.1～)

審議事項

2009年６月９日	平成21年度埋蔵文化財発掘調査予定について
	平成21年度埋蔵文化財調査室関連予算の確保について
	平成21年度予算配当（案）について
	平成20年度埋蔵文化財発掘調査結果について
	平成20年度埋蔵文化財調査室運営費実績について
	その他

付篇２　埋蔵文化財調査室2009年度調査・研究活動記録

【室長】

木下尚子

・平成21年度　日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究（A）（２）「琉球列島先史時代後半期における生業と交易にかんする実証的研究」研究代表者

・平成21年度　日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究（A）（２）海外「台湾人の口述歴史の採集分析に基づく日本統治から戦後への台湾社会の転換に関する研究」研究分担者

・平成21年度　人間文化研究機構総合地球環境学研究所プロジェクト「日本列島における人間－自然相互関係の歴史的・文化的検討」共同研究員

【調査員】

小畑弘己

・平成21年度　日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究（A）「レプリカ・セム法による極東地域先史時代の植物栽培化過程の実証的研究」研究代表者

・平成21年度　特定領域研究「11～16世紀の東アジア海域と寧波－博多関係」研究分担者

・平成21年度　日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究（A）「日本列島と大陸との人の交流に関する人類学的研究」研究分担者

・平成21年度　日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究（A）「モンゴル帝国興亡史の解明を目指した環境考古学的研究」研究分担者
・平成21年度　日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究（A）「極東古集団の形成・統合」研究分担者.
・平成21年度　日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究（B）「香川県金山産サヌカイト製石器の広域流通システムの復元と先史経済の特質の検討」研究分担者
・平成21年度　全国納豆協同組合連合会納豆研究奨励金「東北アジア先史時代のダイズとその栽培化の研究」研究代表者

大坪志子

・平成21年度　日本学術振興会科学研究費補助金　若手研究（A）「石製装身具の石材分析からみた縄文社会の地域間交流と農耕化への変遷過程の研究」研究代表者

報告書抄録

ふりがな	くまもとだいがくまいぞうぶんかざいちょうさしつねんぽう 16
書名	熊本大学埋蔵文化財調査室年報 16
副書名	
巻次	
シリーズ名	熊本大学埋蔵文化財調査室年報
シリーズ号	16
編著者名	木下尚子・小畑弘己・大坪志子・村田知聖
編集機関	熊本大学埋蔵文化財調査室
所在地	〒860-8555 熊本県熊本市黒髪2-39-1 TEL. 096-342-3832 FAX. 096-342-3832
発行年月日	2011年3月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
ほんじょう 本庄遺跡 （０９２３地点）	くまもと 熊本県 熊本市 ほんじょう 本荘	43 201	285	32° 47′ 48.5″	130° 42′ 40″	20091013 20091027 ～ 20091030 20091112 20091113 20091118	71.2㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
ほんじょう 本庄遺跡 （０９２４地点）	くまもと 熊本県 熊本市 ほんじょう 本荘	43 201	285	32° 47′ 48″	130° 42′ 38″	20091019 20091023 20091027 ～ 20091030	134.4㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
ほんじょう 本庄遺跡 （０９２５地点）	くまもと 熊本県 熊本市 ほんじょう 本荘	43 201	285	32° 47′ 47.5″	130° 42′ 37″	20091027 ～ 20091030 20091112 20091113 20091119 20091124 ～ 20091126 20091201 ～ 20091203	54㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
くろかみまち 黒髪町遺跡 （０９３２地点）	くまもと 熊本県 熊本市 くろかみ 黒髪	43 201	278	32° 48′ 50″	130° 43′ 42″	20091110 20091130 ～ 20091203 20091214	231.68㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
くろかみまち 黒髪町遺跡 （０９３５地点）	くまもと 熊本県 熊本市 くろかみ 黒髪	43 201	278	32° 48′ 57″	130° 43′ 34″	20100107 20100112 20100119 20100122 20100202	423.21㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
くろかみまち 黒髪町遺跡 （０９３８地点）	くまもと 熊本県 熊本市 くろかみ 黒髪	43 201	278	32° 48′ 48″	130° 43′ 51″	20100114 20100217 ～ 20100219	10㎡	学校敷地内の開発事業に伴う

※北緯・東経の数値は世界測地系に基づく値です

所収遺跡	種　別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
ほんじょう 本庄遺跡 (0923地点)	集　落　址	古代	ピット・住居	土師器坏・須恵器蓋	
ほんじょう 本庄遺跡 (0924地点)	集　落　址	古代	ピット	なし	
ほんじょう 本庄遺跡 (0925地点)	集　落　址	古代	ピット・住居址・溝	土師甕・高坏 土師器・須恵器	
くろかみまち 黒髪町遺跡 (0932地点)	集　落　址	古代	溝	古代土師器・須恵器	
くろかみまち 黒髪町遺跡 (0935地点)	集　落　址	古代・近代	ピット	土師器甕・坏・須恵器 摩耗した瓦・磁器	
くろかみまち 黒髪町遺跡 (0938地点)	散　布　地	縄文	溝	縄文土器片	

熊本大学埋蔵文化財調査室年報16
—2009年度—

平成23年３月26日　印刷
平成23年３月31日　発行

編集兼発行者　熊本大学埋蔵文化財調査室
熊本市黒髪２－39－１
電話（096）342－3832
印刷所　シモダ印刷株式会社

Published by
Archaeological Operation Center
Kumamoto University
Kumamoto, 2011